

2017年 (平成29年)

教室年報

関西医科大学外科学講座

Department of Surgery, Kansai Medical University



目次

はじめに	1
大学病院スタッフ紹介	2
医局員在籍施設紹介	3
2016年手術集計	4
近畿圏病院別がん手術件数ランキング	5
全国病院別がん手術件数ランキング	6
2017年度新入教室員紹介	7-8
大学・関連病院近況報告	9-21
関西医大附属病院肝胆膵外科	9
関西医大附属病院消化管外科	10
関西医大附属病院小児外科	11
関西医大総合医療センター	12
関西医大香里病院	13
泉尾病院	14
若草第一病院	15
交野病院	16
北野病院 小児外科	17
吉田病院	18
萱島生野病院	19
上山病院	20
北河内藤井病院	21
牧病院	22
明生病院	23
森ノ宮病院	24
2016年度外科学講座行事	25-30
2016年外科学講座業績	31-45

はじめに

2008年4月に外科学講座の教授に就任いたしました9年が過ぎました。就任当初に同門の先生方に外科の現況と将来展望をお知らせするために「教室年報」を作成致しました。しかし、その後は外科学講座の医局員を対象として毎年の手術実績や業績などをお知らせして来ましたが、本年3月に小児外科診療教授の濱田吉則先生が定年退職され、外科の同門の先生方を知る教室員は年々少なくなっております。本年は同門会でも簡単な紹介紙を作成するとのことでしたので、それに併せて教室年報を作成することに致しました。今回の教室年報では大学や関連病院の先生方の近況報告を主とした「顔の見える」内容と致しました。

人事では、濱田吉則先生の後任として本年6月から小児外科の診療教授として土井 崇先生が着任されました。土井先生は新進気鋭の小児外科医として本学の小児外科を大いに発展されるものと期待しております。

関西医科大学附属病院においては、肝胆膵外科、消化管外科、小児外科、乳腺外科がそれぞれの専門性を発揮し、2016年の外科全体の手術件数は、1500件を超えております。肝胆膵と胃癌手術では全国でも上位のランキングに入る症例をこなしております。また、関西医科大学総合医療センターの2016年の外科手術件数は、1100件を超えており、駒井宏好診療教授の血管外科手術や山本大悟病院教授の乳房再建を伴う乳癌手術が高い評価を得ております。関西医科大学香里病院は199床の病院ですが、全国の私立医科大学の同じクラスの病院の中で黒字を出している極めて優秀なDPC病院となっております。

教室員の教育に関しては、抄読会を単に論文の結論を鵜呑みにするのではなく、研究が適切に行われているかどうか、結論が信頼する価値のあるものかどうかの判断をする critical appraisal (批判的吟味)を学び、批判的吟味を行うためにはバイアスや偶然性などの疫学的概念を理解し、研究デザインや統計学の基本を学ぶ場と設定しました。発表に対する適切な評価とフィードバックにより、洗練された臨床研究が行える若い先生が育ってくれることを期待しております。また、働きながら大学院に入学し専門医と学位が同時に取得できる社会人大学院制度も2名が在籍しております。来年度から開始される専門医制度については、多くの専門医を受け入れるために井上健太郎准教授が十全な準備を致しました。

研究に関しましては、トピックスとして柳本泰明講師が中心となって免疫チェックポイント阻害薬の適切な使用に関する総額4000万円の共同研究が進行しております。

本学は、来年6月に創立90周年を迎えますが外科学講座の役割は益々重要となっております。外科学講座には優秀で行動力のある若い医師が数多くおります。彼等は皆、薄給と多忙極まる労働環境で精一杯頑張っておりますので、同門ならびに関連の先生方には、更なる激励とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年7月7日

権 雅憲

大学病院スタッフ紹介

2017年6月現在

附属病院	卒業年度	氏名
主任教授	1981	権 雅憲
診療教授	1987	濱田 円
診療教授	1987	杉江 知治
診療教授	2002	土井 崇
准教授	1988	松井陽一
准教授	1991	海堀昌樹
准教授	1991	里井壮平
准教授	1993	井上健太郎
講師	1996	道浦 拓
講師	1996	柳本泰明
講師	1996	松井康輔
助教	1998	小坂 久
助教	1999	向出裕美
助教	1999	石崎守彦
助教	2002	山本智久
助教	2002	廣岡 智
助教	2003	大石賢玄
助教	2004	三木博和
助教	2004	矢内洋次
助教	2005	稲田 涼
助教	2006	津田 匠
病院助教	2006	小塚雅也
病院助教	2006	中竹利知
病院助教	2008	中村有佑
病院助教	2010	遠藤香代子
病院助教	2010	小林壽範
病院助教	2012	重田裕介
病院助教	2012	吉田 明史
任期付助教	2015	川口 貴士
任期付助教	2015	平井千恵

GICU	卒業年度	氏名
助教	2003	山木 壮
救命救急センター	卒業年度	氏名
助教	2002	桜本和人
助教	2003	由井倫太郎

総合医療センター	卒業年度	氏名
特命教授	1977	吉岡和彦
診療教授	1985	駒井宏好
准教授	1988	北出浩章
准教授	1993	山本大悟
講師	1994	中井宏治
講師	1996	徳原克治
診療講師	1996	柳田英佐
助教	1998	山田正法
助教	1998	肱川 健
助教	1999	深山紀幸
助教	1997	坂下英樹
病院助教	2007	末岡憲子
病院助教	2008	山本暢子
病院助教	2009	中谷和義
病院助教	2013	吉川勝広
病院助教	2009	千葉 創
病院助教	2011	高井佳菜子
任期付助教	2014	住山房央
任期付助教	2015	石塚 まりこ
香里病院	卒業年度	氏名
講師	1990	吉田 良
診療講師	1995	金 成泰
診療講師	1996	吉田秀行
助教	1998	神原達也
助教	2000	岡崎 智
助教	2000	兼松清果
大学院生	卒業年度	氏名
4回生	2008	松島英之
4回生	2008	菱川秀彦
3回生	2009	坂口達馬
3回生	2010	良田大典
2回生	2006	小塚雅也
2回生	2010	小林壽範
2回生	2011	橋本祐希
1回生	2011	八田雅彦

医局員在籍施設紹介

2017年6月現在

社会医療法人信愛会「逢々館かたの」

中根恭司

愛知医科大学病院 臨床腫瘍センター

岩本慈能

大阪府済生会「泉尾病院」

山道啓吾、田中義人、松浦 節、尾崎 岳

社会医療法人弘智会「上山病院」

荒木 浩、横井川規巨

医療法人上山病院

上山庸佑

大阪赤十字病院

岡田俊裕

大澤病院

上原正憲、長谷川健司

洛和会音羽病院

荒木吉郎

社会医療法人信愛会「交野病院」

栗本修次、福井淳一、八田雅彦

かまの外科医院

鎌野尚子

社会医療法人弘道会「萱島生野病院」

山田 斉、寺川直良

貴島病院本院

高井惣一郎

医療法人藤井会「北河内藤井病院」

川口雄才

公益財団法人田附興風会「北野病院」小児外科

佐藤正人

くずは画像診断クリニック

松本真由美

九州大学病院小児外科

濱田 洋

コープおおさか病院

高田晃平

医療法人社団斎藤医院

斎藤隆道

島野医院

島野直人

医療法人仁泉会「仁泉会病院」

田中宏典

すずかけの木クリニック

奥川帆麻

医療法人孟人会「摂南総合病院」

真田俊明、奥村俊一郎

高橋クリニック

高橋完治

医療法人回生会「宝塚病院」

大草世雄、平 充、馬殿徹也

塚口病院小児外科

渡辺健太郎

津山中央病院

繁光 薫

医療法人清水会「鶴見緑地病院」

堀内 収

豊川医院

豊川秀吉

なかのクリニック

中野雅貴

畑肛門医院

畑 嘉高

医療法人桂信会「羽原病院」

羽原弘造

東大阪市立総合病院緩和ケア内科

岩城隆二

医療法人一祐会「藤本病院」乳腺外科

是枝 敬

特定医療法人「牧病院」

佐藤睦哉

松山外科診療所

松宮美保

医療法人明生会「明生病院」

小松優治

もとひろクリニック

元廣高之

社会医療法人「森之宮病院」

小倉徳裕

医療法人毅峰会「吉田病院」

吉田和正、奥野雅史、山尾 順

リボン・ロゼ田中完児クリニック

田中完児

社会医療法人若弘会「若草第一病院」

山中英治、小田道夫、北川克彦、中本博之

医療法人誠和会「和田病院」

和田讓二

2016年(平成28年)大学病院および関連病院手術集計

	附属病院	総合医療センター	香里病院	済生会泉尾病院	若草第一病院	交野病院	明生病院	吉田病院	萱島生野病院	上山病院	宝塚病院	牧病院	北河内藤井病院	森之宮病院	北野病院小児外科
手術件数	1528	1159	448	337	409	313	487	465	166	125	191	207	147	163	334
全身麻酔	1380	827	365	246	285	247	147	117	108	92	53	127	52	147	334
腰椎麻酔	104	0	11	5	106	3	2	83	5	1	22	3	12	0	
局所麻酔	44	321	76	86	18	63	338	265	52	32	117	107	83	16	
悪性疾患	749	461	198	103	107	70	16	18	21	14	19	24	18	26	
食道癌	48	7	0	1	0	1	0			0				0	
胃癌	160	52	18	21	21	15	7	4	6	3	4	8	5	6	
結腸癌	128	61	41	39	48	18	1	9	7	7	10	11	8	15	
直腸癌	62	39	25	14	30	6	2	1	6	3	4	2	2	5	
乳癌	173	233	112	7	4	28	0			0		1			
肝癌・転移性肝癌	62	53	0	4	1	0	1	4	2	0		2	2		
胆管癌・胆嚢癌	28	8	0	3	2	0	0			0	1				
膵癌	60	6	0	3	0	0	1			0			1		
肺癌・転移性肺癌		0	0	3	0	0	0			0					
その他悪性腫瘍	28	2	2	8	1	2	4			1					
良性疾患	697	658	171	180	280	179	235	360	88	79	115	82	89	113	334
食道	2	0	0	1	2	0	0			0				1	
胃・十二指腸	9	1	0	1	9	1	0	5	1	1	4		2	4	
小腸	6	8	1	5	14	2	12	2		0	5			4	
大腸	9	36	5	9	2	4	7	3	4	1	2	4	1	3	
肝・脾・膵	9	10	0	2	1	0	0	1		0					
胆石症・胆道系	190	100	44	40	65	64	48	48	19	18	10	18	12	28	
乳腺	36	62	27		0	14	0			0		1			
ヘルニア(成人)	103	78	63	29	52	41	28	20	29	31	23	31	10	46	
鼠径ヘルニア(小児)	133	0	0		0	1	0			0					70
痔核・痔ろう		1	0	13	20	1	10	19	3	1	4	8	4		
イレウス	16	5	5	10	15	10	7	2	4	4		2	6	9	
外傷		0	0	1	0	0	2			0			45		
血管関連		333	0	37	34	0	107	234	1	0	58				
腹膜炎手術・腹腔ドレナージ		10	3	4	7	4	10	7	2	2					
人工肛門造設・閉鎖	24	13	19	7	19	11	4	9	5	8		7	6	1	
小児外科	158	0	0		3	0	0			0					264
虫垂炎(成人)	2	1	4	15	37	26	0	10	20	13	9	11	3	17	
肺			0	6	0	0	0			0					
その他	82	40	79	54	22	64	236	87	57	32	57	101	40	24	
腹腔鏡(開腹)検査・生検	34	0	7	5	0	0	1			0		32		1	
胃腸吻合他バイパス手術	11	0	1	3	4	3	1		2	0			2		
CVポート留置	11	39	55	32	18	24	199	13	13	28	5	49	16	12	
その他疾患	26	1	16	14	0	37	35	74	42	4	52	20	22	11	

近畿圏病院別がん手術件数ランキング(2015年)

『週刊朝日MOOK 手術数でわかるいい病院2017 全国&地方別ランキング』

順位	食道がん		肝胆膵がん		胃がん		乳がん		大腸がん	
	病院名	件数	病院名	件数	病院名	件数	病院名	件数	病院名	件数
1	大阪大学病院	114	大阪市立大学病院	238	大阪府立 成人病センター	216	大阪プレストクリニック	384	大阪医科大学病院	512
2	大阪市立大学病院	111	神戸大学病院	209	大阪医科大学病院	171	大阪府立 成人病センター	370	大阪府立 成人病センター	249
3	大阪府立 成人病センター	86	近畿大学病院	198	関西医科大学病院	156	加藤乳腺クリニック	338	関西労災病院	245
4	京都府立 医科大学病院	65	和歌山県立 医科大学病院	193	和歌山県立 医科大学病院	149	神鋼記念病院	287	大阪赤十字病院	234
5	近畿大学病院	61	大阪府立 成人病センター	188	大阪大学病院	148	姫路赤十字病院	284	岸和田徳洲会病院	224
6	和歌山県立 医科大学病院	51	関西医科大学病院	176	兵庫県立 がんセンター	147	大阪医科大学病院	273	大阪市立 総合医療センター	216
7	兵庫県立がんセンター	49	大阪大学病院	149	兵庫医科大学病院	139	大阪大学病院	266	和歌山県立 医科大学病院	213
8	関西医科大学病院	46	兵庫県立 がんセンター	147	大阪市立 総合医療センター	135	近畿大学病院	249	大阪警察病院	212
9	神戸大学病院	44	大阪医科大学病院	145	大阪赤十字社病院	131	兵庫県立 加古川医療センター	227	日本赤十字社 和歌山医療センター	211
10	姫路赤十字病院	38	大阪市立 総合医療センター	143	日本赤十字社 和歌山医療センター	130	関西労災病院	216	大阪市立大学病院	204
11	大阪市立 総合医療センター	34	大阪赤十字病院	137	姫路赤十字病院	117	兵庫県がんセンター	211	大阪警察病院	202
12	兵庫医科大学病院	33	明和病院	135	岸和田徳洲会病院	116	大阪市立大学病院	209	市立豊中病院	202
13	大阪医科大学病院	31	奈良県立 医科大学病院	125	市立豊中病院	116	関西医科大学 総合医療センター	203	関西医科大学病院	202
14	大阪赤十字病院	26	(国)大阪医療センター	121	大阪府立急性期・総合医療センター	115	市立奈良病院	200	兵庫県立 がんセンター	202
15	大阪府立急性期・総合医療センター	24	兵庫医科大学病院	121	大阪市立大学病院	107	神戸市立医療センター 中央市民病院	191	神戸市立医療センター 中央市民病院	201
16	関西労災病院	22	大津赤十字病院	113	滋賀県立 成人病センター	106	京都府立 医科大学病院	189	大阪医療センター	191
17	神戸市立医療センター 中央市民病院	19	神戸市立医療センター 中央市民病院	104	天理よろづ相談所 病院	104	大阪市立 総合医療センター	182	大阪府立急性期・総合医療センター	184
18	奈良県立 医科大学病院	19	京都府立 医科大学病院	102	神戸市立医療センター 中央市民病院	102	神戸アーバン 乳腺クリニック	182	姫路赤十字病院	181
19	京都大学病院	18	姫路赤十字病院	100	近畿大学病院	98	市立貝塚病院	178	大阪大学病院	171
20	(国)大阪医療センター	15	奈良県 総合医療センター	100	京都府立 医科大学病院	96	大阪労災病院	174	近畿大学病院	171
21	京都桂病院	14	大阪労災病院	91	京都第一赤十字病院	92	日本赤十字社 和歌山医療センター	170	済生会中津病院	166
22	兵庫県立 加古川医療センター	12	滋賀県立 成人病センター	90	大阪労災病院	92	和歌山県立 医科大学病院	169	明和病院	165
23	日本赤十字 和歌山医療センター	12	京都第二赤十字病院	86	関西労災病院	91	(国)大阪医療センター	167	兵庫医科大学病院	162
24	滋賀医科大学病院	11	(国)京都医療センター	80	京都大学病院	90	沢井記念 乳腺クリニック	162	京都府立 医科大学病院	158
25	大津赤十字病院	11	市立豊中病院	78	大阪警察病院	89	北野病院	161	ベルランド総合病院	156
26	(国)京都医療センター	11	滋賀医科大学病院	76	奈良県立 医科大学病院	88	京都大学病院	160	西神戸医療センター	155
27	北播磨総合医療センタ	11	京都桂病院	75	明石医療センター	87	堺市立 総合医療センター	156	守口敬任会病院	154
28	守口敬任会病院 姫路医療センター 天理よろづ相談所病院 和歌山ろうさい病院	10	大阪警察病院	75	府中病院	85	兵庫医科大学病院	155	天理よろづ相談所 病院	152
29			京都第一赤十字病院	74	京都桂病院	84	関西医科大学病院	153	京都医療センター	149
30			天理よろづ相談所 病院	69	(国)大阪医療センター	84	天理よろづ相談所 病院	147	箕面市立病院	147

全国病院別がん手術件数ランキング(2014、15年)

『週刊朝日MOOK 手術数でわかるいい病院2017, 2016 全国&地方別ランキング』

順位	肝胆膵がん				胃がん			
	2015年		2014年		2015年		2014年	
	病院名	件数	病院名	件数	病院名	件数	病院名	件数
1	がん研有明病院	366	がん研有明病院	337	がん研有明病院	562	がん研有明病院	532
2	日本大学板橋病院	308	日本大学板橋病院	320	国立がん研究センター 中央病院	504	県立静岡がんセンター	375
3	県立静岡がんセンター	294	大阪市立大学病院	260	県立静岡がんセンター	336	国立がん研究センター 中央病院	324
4	東京大学病院	255	東京大学病院	251	国立がん研究センター 東病院	256	国立がん研究センター 東病院	271
5	名古屋大学病院	255	県立静岡がんセンター	249	大垣市民病院	230	恵佑会札幌病院	241
6	虎の門病院	247	東京女子医科大学病院	247	大阪府立 成人病センター	216	都立駒込病院	220
7	東京女子医科大学病院	245	名古屋大学病院	238	恵佑会札幌病院	206	市立広島市民病院	209
8	国立がん研究センター 中央病院	240	国立がん研究センター 中央病院	237	埼玉医科大学 国際医療センター	193	県立がんセンター 新潟病院	205
9	大阪市立大学病院	238	広島大学病院	213	県立がんセンター 新潟病院	193	埼玉医科大学 国際医療センター	204
10	千葉大学病院	229	順天堂大学 順天堂医院	199	市立広島市民病院	190	藤田保健衛生 大学病院	203
11	広島大学病院	211	国立がん研究センター 東病院	197	神奈川県立 がんセンター	189	山形県立中央病院	198
12	神戸大学病院	209	埼玉医科大学 国際医療センター	197	北里大学病院	187	神奈川県立 がんセンター	191
13	埼玉医科大学 国際医療センター	203	大阪府立 成人病センター	194	都立駒込病院	185	埼玉県立がんセンター	186
14	静岡県立総合病院	201	虎の門病院	192	藤田保健衛生 大学病院	185	大阪府立 成人病センター	185
15	国立がん研究センター 東病院	199	関西医科大学 枚方病院	191	山形県立中央病院	180	大阪医科大学病院	185
16	近畿大学病院	198	北海道大学病院	185	富山県立中央病院	171	倉敷中央病院	181
17	北海道大学病院	195	千葉大学病院	184	大阪医科大学病院	171	富山県立中央病院	174
18	九州大学病院	194	新松戸中央 総合病院	182	愛媛県立中央病院	167	仙台厚生病院	173
19	和歌山県立 医科大学病院	193	静岡県立総合病院	180	埼玉県立がんセンター	164	愛媛県立中央病院	173
20	久留米大学病院	191	岡山済生会総合病院	176	倉敷中央病院	163	大垣市民病院	161
21	東北大学病院	190	高知医療センター	175	虎の門病院	159	九州大学病院	161
22	大阪府立 成人病センター	188	横浜国立大学病院	165	厚生連長岡中央 総合病院	157	東京女子 医科大学病院	159
23	関西医科大学病院	176	和歌山県立 医科大学病院	162	関西医科大学病院	156	和歌山県立 医科大学病院	159
24	熊本大学病院	173	東北大学病院	159	愛知県がんセンター 中央病院	153	兵庫県立 がんセンター	158
25	順天堂大学 順天堂医院	171	久留米大学病院	154	仙台厚生病院	149	自治医科大学病院	154
26	獨協医科大学病院	169	日本赤十字社 医療センター	153	和歌山県立 医科大学病院	149	虎の門病院	153
27	横浜国立大学病院	166	岩手医科大学病院	152	大阪大学病院	148	群馬県立がんセンター	152
28	東京医科歯科 大学病院	163	長崎大学病院	151	兵庫県立 がんセンター	147	関西医科大学 枚方病院	152
29	岡山大学病院	160	大垣市民病院 愛知県がんセンター 中央病院	150	九州大学病院	147	静岡県立総合病院	146
30	愛媛県立中央病院	157	奈良県立 医科大学病院		自治医科大学病院	146	愛知県がんセンター 中央病院	144

2017年度新入教室員紹介



土井 崇(どい たかし) 小児外科診療教授

卒業校: 順天堂大学(2002年)

出身: 千葉県

趣味: ワイン、芸術鑑賞、スポーツ全般

抱負: 安全かつ低侵襲な手術で、北河内医療圏の信頼を確立し、講座内小児外科を関西一の診療科にしたいと考えております。

ご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。



千葉 創(ちば つくる) 病院助教

卒業校: 日本医科大学(2009年)

出身: 岐阜市 (横浜育ち: 実家横浜)

趣味: 人物観察(ヒューマンウォッチング)、街並み観察、サッカー、弓道

抱負: 初めての関西生活です。がん緩和医療、在宅医療、医療政策などにも興味があります。

よろしく願いいたします。



高井 佳菜子(たかい かなこ) 病院助教

卒業校: 千葉大学(2011年)

出身: 東京都

趣味: ゴルフ、犬の散歩、ワイン

抱負: 何事にも全力投球で取り組みます。

少しでも多くの知識を身に付けスキルアップできるよう頑張りますので、宜しくお願い致します。



吉田 明史(よしだ てるふみ) 病院助教

卒業校: 金沢医科大学(2012年)

出身: 京都府舞鶴市

趣味: テニス、ダイビング

抱負: 初期研修を金沢で、後期研修を舞鶴でした後、今年の4月から入局させていただきました。日々初心を忘れず、家族と患者を幸せにできる外科医になれるよう頑張っていきますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2017年度新入教室員紹介



重田 裕介(しげた ゆうすけ) 病院助教

卒業校: 日本大学(2012年)

出身: 神奈川県伊勢原市

趣味: バスケット、音楽・芸術鑑賞

抱負: 関西医大小児外科の盛り上げに尽力致します。



石塚 まりこ(いしづか まりこ) 任期付助教

卒業校: 東北大学(2014年)

出身: 和歌山県

趣味: スノボ、ダイビング

抱負: 臨床腫瘍に興味があり外科に入局しました。

よろしくお願いいたします。



川口 貴士(かわぐち たかひと) 任期付助教

卒業校: 関西医科大学(2015年)

出身: 大阪府交野市

趣味: 剣道

抱負: 医療に心血を注ぎます。

よろしくお願いいたします。



平井 千恵(ひらい ちえ) 任期付助教

関西医科大学(2015年)

出身: 岡山県倉敷市児島

趣味: カメラ、写真、旅行(国内外問わず)、フットサル

抱負: 乳腺外科領域で1日でも早く活躍できるよう日々精進します。

よろしくお願いいたします。

関西医科大学附属病院 肝胆膵外科

スタッフ

教授(部長)	権 雅憲	助教	石崎 守彦
准教授	松井 陽一	助教	小坂 久
准教授	海堀 昌樹	助教	山本 智久
准教授	里井 壯平	助教	廣岡 智
講師	柳本 泰明	助教	山本 壮
講師	松井 康輔	病院助教	小塚 雅也
		病院助教	中竹 利知

松井(陽)



廣岡 柳本 小塚 山本(智) 権 石崎 松井(康) 小坂 山本

肝胆膵領域の手術は難易度が高いことから、一般外科では困難な手術術式を多く実施しております。当科には日本肝胆膵外科学会高度技能指導医3名、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医が3名在籍しており、まさに肝胆膵外科専門病院の名にふさわしい体制で手術を安全に実施しております。

2016年度の関西医科大学附属病院で実施された肝胆膵脾疾患手術は441件（肝68件、膵88件、胆227件）であり、その多くは癌疾患で年々高齢者の割合が増加してきていることも最近の特徴です。当科はすでに国内屈指の肝胆膵手術のhigh volume centerであると認知されていますが、これまでの手術実績を生かして手術関連合併症の低減に常に取り組んでいます。また高齢者の増加に対応すべく、各診療科（循環器内科、麻酔科、集中治療部門等）との連携を強化し、がん専門施設との違いを明確に打ち出しています。がん専門病院の機能に総合病院の機能を最大限有効に活用して患者さんの生活を支えており、大阪府下にある8つの二次医療圏の中でもっとも高水準の医療を提供できているものと思われます。

臨床研究面におきましても、国内最大の共同研究グループであるJCOG肝胆膵グループでのコアメンバーとしての役割を果たすことを筆頭に、その他多数の共同研究活動を行っておりますので、常に最先端の医療を提供できています。さらに、様々な企業からの新規治験や資金提供下の基礎研究も実施しており、公的資金以外での研究も積極的に行っており、日常臨床のみならずがん研究における臨床研究、基礎研究においても高いアクティビティを維持しております。

また、最近では医局員のためのレクリエーションの一環として、課外活動や団体スポーツを行ったり、バスツアーを開催したりと、普段ハードな仕事をこなす医局員の慰労にも配慮した明るく楽しい医局の雰囲気作りにも力を注いでいます。このように豊富な手術経験に裏付けられた種々の取り組みによって、常に他施設より一歩進んだ治療を提供すること、さらには決してあきらめない、最善を尽くす治療をすることを関西医科大学肝胆膵外科のモットーにしております。

関西医科大学附属病院 消化管外科

スタッフ

診療教授	濱田 円	助教	稲田 涼
准教授	井上 健太郎	助教	津田 匠
講師	道浦 拓	病院助教	小林 壽範
助教	向出 裕美	病院助教	吉田 明史
助教	大石 賢玄	任期付助教	川口 貴士
助教	三木 博和		



小林 山本(研修医) 川口 津田 大石 道浦 三木 吉田 濱田 向出 井上 稲田

第一に疾患の根治を、次に機能温存を最小の侵襲で得られる外科治療を目標としています。外科治療には、臓器の発生と解剖を深く理解することが不可欠です。消化管の発生と解剖を深く理解することにより、手技の精度は向上し、根治性が高く侵襲が低い手術が提供できると考えています。現在、消化管の手術における鏡視下手術の割合は増加しており、高画質な内視鏡映像により、局所解剖の理解が日々深まっています。特に解剖が複雑なのが、直腸領域ですが、東京医科歯科大学医学部解剖学教授佐藤達夫先生に何度も手術ビデオを見て頂き、ディスカッションを繰り返し、正確な解剖に基づいた精度の高い手術が可能となっています。直腸領域の解剖の理解は、食道、胃領域の解剖の理解にも大きく影響しており、今後、食道胃接合部がんなどの手技が定型化していない煩雑な手術が、精度の高いものへと飛躍することを期待しています。

2016年度の手術件数ですが、悪性疾患では、食道がん52件、胃がん150件、胃GIST 5件、結腸がん128件、直腸がん62件でありました。良性疾患では、食道アカラシア1件、肥満・糖尿病7件、結腸直腸疾患34件でありました。

また、難易度の高い手術だけでなく、若手外科医の研修に適した鼠経ヘルニア手術も多数実施しています。シミュレーションセンターでの実習や鼠経ヘルニア手術を研修医や若手外科医に行って頂くことにより、外科医の育成に貢献できるかと考えています。

医学の進歩への貢献も目指し、研究、学会発表、論文作成にも力を注ぐよう努力しています。自施設での研究だけでなく、JCOGなどの多施設共同臨床研究グループにも参加しています。2016年度の業績は、英文論文7編、日本語論文6編、国際学会・研究会発表7件、国内学会・研究会発表が53件でありました。消化管外科は手術・化学療法件数や外来・入院患者が多く、皆忙しく働いていますが、国際学会に毎年1件は発表すること、論文を英語、日本語に関わらず、毎年1編は書くことを目標としています。

関西医科大学附属病院 小児外科

スタッフ

診療教授	土井 崇
助教	中村 有佑
助教	重田 裕介
嘱託常勤	濱田 吉則

重田 土井 中村



濱田

小児外科領域の手術は新生児から学童まで幅広い年齢層を対象とし、また扱う臓器は呼吸器、消化器、泌尿生殖器など多岐にわたることから、多くの知識と経験を必要としております。2016年度の関西医科大学附属病院で実施された小児外科手術は284件であり、うちマイナー手術である鼠径ヘルニアは115件で全体の約40%にとどまり、ヒルシュスプルング病や鎖肛、腫瘍といったメジャー手術の割合が比較的多いことが本学附属病院小児外科の特徴です。また、本年度は6月1日付けで、本学外科学講座小児外科担当診療教授ならびに本学附属病院小児外科診療科長に土井崇が着任いたしました。同時に助教には、新しく重田裕介が配属され、新しい医員で当科の雰囲気も一新されました。土井は順天堂大学を卒業後、順天堂大学医学部附属順天堂医院にて一般外科および小児外科のトレーニングを受けており、なかでも低侵襲内視鏡外科手術や新生児手術などは土井の得意とするところがあります。本学附属病院にて「安全で確実」な小児外科手術を行うのは勿論のこと、外科系関連各科との連携を強化し、より集学的な外科治療を心掛けております。教育および研究におきましては、海外コミュニケーション能力および国際競争力の重要性を本学の研修医、若手医師に広く伝え、グローバルに情報発信ができる人材を育成いたします。そして医員には臨床医として高度かつ専門的な医療技術と知識を修得させる一方、臨床研究を力強く推し進め、国際舞台で活躍できる後進の育成を目指しております。本学附属病院が大阪府北河内医療圏における基幹病院であることを念頭に、小児・周産期医療の地域連携を強化し、診療実績の向上に大きく貢献できるよう全力で取り組んでまいります。まだまだ若輩者の新しい診療チームゆえ、至らぬ点多々あるかと存じます。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

関西医科大学総合医療センター



関西医科大学附属滝井病院は2016年5月に新館が完成し、施設名も関西医科大学総合医療センターとなりました。

消化管外科

2017年7月現在、上部消化管メンバーは中井先生、山田先生、住山先生の3人。下部消化管は吉岡と徳原先生、中谷先生の3人です。昨年の上部消化管の手術症例は食道癌7例、胃癌52例でした。山田先生が脇川先生の協力を得て78例の鼠径ヘルニアの手術を行っています。また、外来の化学療法外来は山田先生が担当しています。下部消化管は、昨年初発大腸癌が100例、良性疾患が36例でした。徳原先生が中心となり腹腔鏡補助下手術を手掛け、化学療法外来も行っています。吉岡は排便機能障害に対する仙骨神経刺激療法の手術を見学者に公開しています。

肝胆膵外科

肝胆膵外科では肝胆膵脾悪性疾患を中心に、良性疾患も数多く行っています。2016年は悪性疾患67例、良性疾患110例の手術を行いました。主治医1人当たり年間30-40例の悪性腫瘍、50-60例の良性疾患の手術を担当しています。高難度手術症例も多く、移植以外の肝胆膵外科手術全てに対応可能です。鏡視下手術を積極的に取り入れており、肝切除のおよそ4割は腹腔鏡での手術です。我々は精度の高い安全な手術を行うことをモットーにしており、腹腔鏡下肝切除術での合併症および胆嚢摘出術での胆道合併症は現在までありません。今後より精度の高い手術を目指していきたいと思っております。

乳腺外科・プレストセンター

乳腺外科は2013年6月より約10年ぶりに再開しました。

スタッフは山本をはじめ、末岡先生、吉川先生、今年から入局した石塚先生、東大から来た千葉先生と計5人で診療しています。乳がん手術件数は2013年53件、2014年156件、2015年203件、2016年233件と順調に増加しています。とくに当科の特徴として形成外科と協力してプレストセンターとして乳房再建を多く行っています。昨年の実績は乳がん233件中、152件乳房再建をおこないました。これは西日本一多い再建数です。患者様満足度も高く、納得していただけるとおもいます。乳房インプラントや自家組織再建はそれぞれ一長一短あり、患者さんのニーズや、乳房の形態を考慮して使い分けています。

血管外科

昨年5月の新病院開院に際し、診療科名を「末梢血管外科」から「血管外科」に変更し、大動脈を含む血管疾患全般を網羅する診療科であることをより明確にしている。4月より医局員も5人体制となり、7月からは外来枠も増やす予定である。本年に入り動脈疾患手術を月10例ペースで実施しており、胸部、腹部大動脈瘤、重症下肢虚血などの難易度の高い疾患がそのほとんどを占めている。科の特徴として手術だけではなく保存的治療も積極的に行い、動脈硬化性血管病の予防、早期発見に力をいれている。そのために一般市民、地域医療機関のメディカルスタッフ、医師、若手外科医のそれぞれに対し動脈硬化啓発、診療技術向上のためのセミナーを開催している。

関西医科大学香里病院



吉田 良



金 成泰



神原達也



吉田秀行



兼松清果



岡崎 智



関西医科大学香里病院は、2010年6月に開院した199床の中規模病院です。診療科は、13科で、血管外科や精神科も夕診での外来診察を行っています。昨年からは、当院に訪問看護ステーションが開設され、外科などの入院患者も在宅移行への足がかりとして利用しています。

外科は、上下部消化管の悪性腫瘍手術と術前後や再発時の化学療法、緩和治療が主な業務です。胆嚢炎や虫垂炎、ヘルニア手術などの良性疾患に対しても積極的に治療を行います。

乳腺外科は、乳腺の良性悪性疾患の診断から手術、化学療法、緩和治療に至るまでを行っています。

2016年手術症例数

手術件数 448: 悪性疾患 198(胃癌 18、結腸癌 41、直腸癌 25、乳癌 112、その他 2)

良性疾患 171(小腸 1、大腸 5、胆石症・胆道系 44、乳腺 27、成人ヘルニア 63、イレウス 5、腹膜炎手術・腹腔ドレナージ 3、人工肛門増設・閉鎖 19、成人虫垂炎 4)

その他 79(腹腔鏡(開腹)検査・生検 7、胃腸吻合他バイパス手術 1、CVポート 55、その他 16)

各疾患の診療の特徴

上部消化管

胃癌は、腹腔鏡や開腹定型手術による根治手術を行います。conversion surgeryを目標とした化学療法や切除不能進行再発癌に対する化学療法も積極的に行っています。審査腹腔鏡を行い、疾患の進行度に合わせた最適な治療を行うように努めています。当院では、早期からの緩和ケアも含めた集学的治療を提供しています。

下部消化管

大腸癌を中心に、良性疾患や救急治療なども幅広く手術を行っています。また、泌尿器科や婦人科とのコラボ手術も積極的に行っています。大腸癌では、再発切除不能癌に対するconversion surgeryを目標とした化学療法を積極的に行っています。当院の特徴は、手術や化学療法、終末期ケアまでを一連のものと捉えて治療を行っていることです。緩和手術では、術後のQOL維持と在宅復帰を可能にするための手術も積極的に行っています。

乳腺外科

乳腺外科は、午前午後診および夕診を担当。患者は、寝屋川市だけでなく、枚方市や大阪市内からも多く受診されます。当院では、受診当日に視触診、マンモグラフィ、乳腺エコーなどの検査がすべて行えるように、検査部や放射線科との連携にも取り組んでいます。診断は、針生検、エコーガイド下マンモトム生検、ステレオガイド下マンモトム生検を行います。手術は、乳房再建は行っていませんが、乳房部分切除術時の温存乳房の形づくりには、十部な配慮と努力を行っています。病理部がないために、センチネルリンパ節生検はOSNA法を導入しています。放射線治療は、附属病院を含めた関連病院へ紹介しています。化学療法やホルモン療法、分子標的薬を用いた標準治療を行っています。

大阪府済生会「泉尾病院」



山道啓吾 副院長

一般・消化器外科、呼吸器外科、血管外科

田中義人 医長

一般・消化器外科、肛門外科、感染対策チーム(ICT)

松浦 節 副医長

一般・消化器外科(主に下部消化管)

尾崎 岳 副医長

一般・消化器外科(主に上部消化管)、血管外科、緩和チーム

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
論文	1		6	2	1	3	8	
学会発表	8	32	27	32	34	38	29	28
国際学会		1		1				
特別演題	2	5	3	4	4	1	4	3
一般演題	6	26	24	26	30	37	25	25
講演	1			4	7	14	10	5
座談・他	3	2	4	4	6	8	6	8

済生会泉尾病院は大阪市大正区唯一の公的基幹病院です。病院の歴史は古く、1945年、大正区泉尾に泉尾診療所として発足し、1951年に病床を設け、泉尾病院となりました。1988年、現在の場所に病院を新築・移転、泉尾第二病院の合併などにより現在では急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリ病棟、療養型病棟を備えた440床の総合病院となっています。さらに、周辺に総合福祉施設が整備され、総床700床を超える巨大な医療福祉センターの中心施設です。泉尾病院と関西医大の関係は、経営難から1975年に大阪府済生会と関西医大の間に病院再建協定が締結されました。その協定に基づき、同門の故武田惇先生らが赴任し、病院の再建に取り組みました。経営難は脱し、1979年4月で協定は終了しましたが、その後も関西医大の関連病院として運営されてきました。外科においても重要な関連病院の一つとして長年に渡って医師が教室から派遣されてきましたが、京都大学から医師が派遣されるようになり、一時、関西医大からの出向者は途絶えていました。しかし、京都大学の医師が2009年に全員退職することになり、現病院長の唐川正洋先生の依頼により、私を含め、計4名のスタッフで赴任し、再び、スタッフ全員が関西医大になりました。その後、7名までスタッフが増えましたが、残念ながら大学医局の入局者の減少などにより現在は再派遣時と同じ以下の常勤医4名の体制となっています(図2)。

当科は大学病院と同様、日本外科学会専門医制度修練指定施設・日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設(認定施設)であり、消化器外科、一般外科、呼吸器外科、末梢血管外科、乳腺外科など外科疾患全般の診療を行っています。特に内視鏡外科の充実を図り、胆石症に加え、胃癌や食道癌、大腸癌などの消化管の手術、ヘルニア手術など多くの疾患で積極的に低侵襲な内視鏡手術(腹腔鏡手術・胸腔鏡手術)を行い、新しい内視鏡手術術式として単孔式内視鏡手術(TANKO)を導入しています。がん治療においては、2012年4月には大阪府がん診療拠点病院の指定も受け、癌診療の充実を図り、手術以外にも外来化学療法を含め、ガイドラインに基づいた抗癌剤治療を行い、緩和外来の開設など緩和医療にも積極的に取り組んでいます。地域での活動としては地域の医療機関とがん診療地域連携パスの導入や緩和ケア研修会の開催(PEACE PROJECT)、大正区民のための健活セミナーでの講演などを行っており、地域の基幹病院の外科としての診療と活動を行っています。さらに、活発な学会活動も行っており(表1)、本年3月には「第20回関西がんチーム医療研究会」も主催しました。

社会医療法人若弘会「若草第一病院」



中本博之 北川克彦 山中英治 小田道夫

【外科スタッフ紹介】

- ・山中英治(院長)(S58卒):麻酔科医が3人になり並列の手術も増えたので、院長の仕事をしなが、一応まだ戦力として手術日には手術をしています。他の3人が優しく、良く働いてくれるので有難いです。
- ・小田道夫(部長)(H3年卒):長身浅黒で見かけは怖そうですが、病院中で一番優しい先生との評判で、緩和医療チームのチーフも任されました。
- ・北川克彦(科長)(H8年卒):お尻の病気のことならお任せ下さい。近隣の外科から治療に困った肛門疾患を「御願います」と頼まれています。
- ・中本博之(科長)(H8年卒):とても手先が器用で、細かい血管の手術をコツコツと一人でしています。何故かお婆ちゃんの患者さんに好かれます。

【病院・外科現況紹介】

病院は東大阪市にあり、近鉄奈良線の車窓から見えます。瓢箪山駅から徒歩7分で、大阪外環状線に面しており阪神高速の水走出口から約10分と便利な場所にあります。東大阪市の最も「山の手」にありますので、近隣に高級住宅街もあり比較的品の良い場所です。外科の医師も品の良いメンバーです。

中河内医療圏は人口約80万人ですが、大学病院の無い医療圏のため、当院は地域の中核病院です。230床ですがほとんどの診療科があり、大阪府がん診療拠点病院、地域医療支援病院、単独型臨床研修指定病院です。

2006年3月までは近畿大学外科の関連病院でしたが、2006年4月から外科は関西医科大学外科に交代しました。最初は山中(部長)北川(科長)羽原(医長)寺川(医長)で、羽原医師が実家の病院を継承するために退職するのに前後して、小田医師が着任しました。その後、寺川医師と交代で中本医師が赴任して現在に至っています。

近大から交代した時は、外科の入院患者は癌終末期の2名だけで、近大の外科の先生から「この病院、潰れるかもよ」と申し送りされました。近隣の開業医さんからの紹介患者も少なく、当然予定手術も週に1例ぐらいしか無かったので、麻酔科の常勤医もおらず、近大からのバイトの麻酔の先生はオペ室で読書や論文書きをしているという状況でした。

あまりにも暇で、早く帰宅して家族に鬱陶しがられましたので、周辺の診療所を頻繁に回って「私たち、失敗しませんから」みたいな適当なことを言い続けていましたら、徐々にポツポツと胆石やヘルニア等から紹介してもらえるようになり、開業院の先生方との関係が深まるにつれて癌患者の紹介も増えて、手術件数も右肩上がりで、昨年は400件を超えました。

消化器外科にとって大事な消化器内科は、大阪市大には引き揚げられたのですが、幸いにも内視鏡の上手な医師が集まって、今年は8名になりました。救急からの入院が多い病院なので、上部下部の緊急内視鏡止血術やERCP、ERBD、ESTなどを手早くやってもらえるのは助かります。ESDが上手なので早期癌を内科で治療されてしまう事も多いのですが、患者さんにとっては良い事です。

社会医療法人信愛会「交野病院」



栗本修次 畑埜武彦 八田雅彦 福井淳一

交野病院は昭和40年に交野の地に46床の病院として開設して以来、昭和53年に108床、昭和56年に医療法人信愛会交野病院となりました。平成12年には隣地に新築移転し、平成18年3月には173床へ増床し、平成23年には社会医療法人信愛会交野病院へ名称変更されました。

近年の大きな変革としては平成27年5月に交野市松塚の地に新築移転し、診療科の新増設や救急受入体制の強化を図っています。交野市で唯一の外科系病院として、新病院は208床（一般病床：138床、回復期リハビリ病棟：35床、療養型病床：35床）で、急性期・亜急性・回復期・慢性期を担う地域医療の中核病院としてその役割を担っています。手術室はクリーンルーム2室を含む計5室を擁し、吊り下げ式モニターと鏡視下手術システムを備えています。外科からの要望で手術室内に標本整理室も用意してもらいました。外来にはリクライニングチェア5床を含む計10床の外来化学療法室も完備し、通院での化学療法にも積極的に取り組んでいます。

外科は副院長 栗本修次（H3年卒）、部長 福井淳一（H11年卒）、八田雅彦（H22年卒）の3名体制、乳腺外科は名誉院長 畑埜武彦（S43年卒）が常勤医として診療を行っています。大学医局から徳原克治先生（化学療法外来）、山本暢子先生（血管外来）、吉田秀行先生・遠藤香代子先生（乳腺外来）に非常勤医として外来診療を御支援いただき、また、大学院生を中心に当直・救急対応等の業務にも尽力いただいています。

平成28年の手術実績（手術室で行ったもの）は313件（全身麻酔：247件、腰椎麻酔：3件、局所麻酔：63件）でした。悪性疾患は胃癌、大腸癌、乳癌を中心に70件で、イレウスを伴わない大腸癌および早期胃癌に対しては腹腔鏡下手術を積極的に施行しています。救急搬送の受入件数増加に伴い急性腹症が増加しており、急性虫垂炎、急性胆嚢炎に対する手術を多く行っています。2年前から関西医大麻酔科学講座の麻酔医1名が当院へ常勤医として赴任されたことにより、消化管穿孔等の夜間緊急手術を含め迅速な対応が可能となっています。

当院は関西医大附属病院から近い立地を活かし、後送病院としてリハビリ介入や栄養管理、退院支援、ターミナルケア等の症例を「可能な限り受け入れる」方針で病病連携を図り、大学の先生方の一助になればと考えています。また、救急医学科からの受け入れも積極的に行っていることを御評価いただき、関西医科大学 救急科専門研修プログラムにおける研修施設として、外科医指導の下に若手救急医を受け入れる準備を進めています。

交野病院外科では、小さな外傷、外来での小手術、鼠径ヘルニアや胆石症、虫垂炎などの良性疾患および胃癌、大腸癌などの悪性疾患手術にも幅広く対応し、化学療法や緩和医療も含めたトータルケアを目指して地域医療に貢献したいと考えております。若手外科医の先生方にとってはCommon diseaseへの対応を学ぶ研修先としても当院に興味を持っていただければ幸いです。

北野病院 小児外科



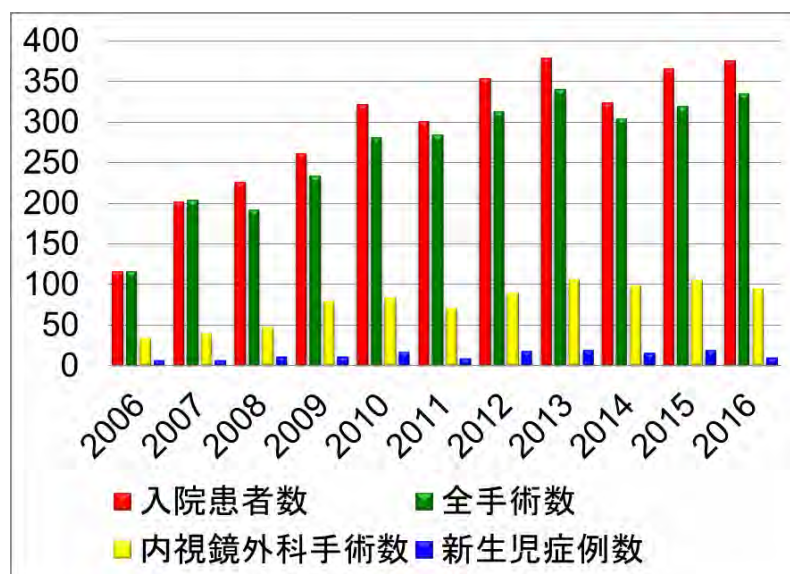
佐藤正人

北野病院では小児外科は独立した診療科として活動しています。

また、当院小児科と連携し24時間365日救急診療体制を維持しています。とくに小児内視鏡外科を中心に全国レベルでの活動を行っています。

佐藤正人(1987年卒)が2006年4月に北野病院小児外科に赴任しました。当初「1人医長」で診療を開始し、手術は消化器外科レジデントに参加してもらっていました。2007年4月に小児外科レジデント(3年任期)として園田真理が京都大学より赴任し、2人体制となりました。その後、当院初期研修を終えた宮内雄也、同じく服部健吾がレジデントとして入職しました。ここで、小児外科は3人体制となりました。次いで、京都府立医科大学よりレジデントとして関戸菜美が、大阪市立大学より林 宏明が副部長として入職しました。その後は、京都大学より鈴木久美子が医員として、次いで遠藤耕介が副部長として赴任しました。2017年4月からは佐藤・遠藤2名の診療体制となっていたのですが、7月からは嵯峨謙一が医員として赴任予定で3人体制に戻ります。

当科では学会活動や論文執筆も積極的に行ってきました。2006年以降の論文数(共著含む)は56本で、うち16本が英文論文でした。学会発表は340件でした。内訳は、国際学会15件、シンポジウム16件、パネルディスカッション9件、ワークショップ13件、ディベートセッション2件、特別企画2件、教育セミナー7件などでした。



医療法人毅峰会「吉田病院」



吉田和正



山尾 順

奥野雅史

【外科スタッフ紹介】

吉田和正(院長)

奥野雅史(外科部長)

山尾順(血管外科)

【病院・外科現況紹介】

毅峰会吉田病院は、昭和45年(大阪万博の年)5月に当地に前身の吉田外科病院として開設させていただき、開設当初は外科病院としての名称ですので、消化器外科と整形外科を中心とした病院でした。

平成6年6月に医療法人毅峰会吉田病院となり内科も標榜するようになり、現在 外科、整形外科のみならず、泌尿器科、人工透析、昨年は循環器内科(心臓血管カテセンター)も追加されるようになりました。訪問看護ステーションや居宅介護支援の在宅サービスを整備し、地域に密着した急性期病院として医療及び福祉の総合的な支援体制に注力してまいりました。

その後、老朽化に伴い平成21年10月に新病院を開設し、24時間救急体制を敷きつつ更なる福祉分野の拡大の為、社会福祉法人毅正会を設立し寝屋川市に介護老人福祉施設を設立しました。また香里園に吉田クリニックをサテライト透析施設として運営しています。また、平成29年9月には寝屋川の青樹会病院を医療法人毅峰会に合併いたします。

これまで先代の築いた信頼と実績をもとに地域の病院として一層皆さまのお役にたてるよう、職員全員が一丸となってがんばってまいります。

平成28年度の当院の外科手術全症例数は計465例でした。特に奥野先生、山尾先生が血管外科のため、血管系の手術症例が多いことが特徴の病院となっております。現在、水曜日には駒井教授が御勤務いただいております。御指導を賜っております。

EVT(下肢ステント治療)75例・シャント造設術52例・下肢静脈瘤(RFA等)62例・下肢バイパス術2例CVボード造設、抜去術16例・その他の血管外科症例は27例となっております(血管外科手術のトータルは234例)。

今後も関西医科大学外科の関連病院として、技術や知識の修練を行い、更に症例を増やすべく邁進してゆく所存です。また、関連病院として三大学病院および関連病院との更なる連携を進めていこうと考えております。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

社会医療法人弘道会「萱島生野病院」



山田 斉



寺川直良

萱島生野病院は前任の岡村先生が退職された後、関西医大からの医師派遣が途絶えていました。しかし平成28年3月より寺川医師、5月より山田が出向となり、常勤医2名体制で診療に当たっています。

病院は今年開院10周年を迎え、病床数140床、急性期一般病院(DPC対象病院)の社会医療法人であり、救急患者を積極的に受け入れています。診療科は多岐にわたり、特に消化器内科は関西医大から出向の先生方であり密な連携を取りながら診療を行っています。消化器癌や急性胆嚢炎、急性虫垂炎、イレウスなどの腹部救急疾患に対する緊急手術も行っています。

手術実績としては前年度と比較して、症例数は1.6倍以上、また手術内容に関しては腹腔鏡手術が著しく増加しています。悪性疾患の結腸癌、直腸癌ではそれぞれ63%、83%(前年度;0%、20%)、良性疾患では胆石症;96%、鼠径ヘルニア;86%、そして虫垂炎に対しては全症例に対して腹腔鏡手術が行われました(前年度;50%、33%、0%)。

現在の問題点は、近隣開業の先生方から外科への紹介が少ない事です。我々が着任する以前、緊急手術症例をあまり積極的に受け入れていなかったとのことで、守口市などの救急病院へ紹介されているようです。これからは近隣医院との連携を深め、可能な限り緊急にも対応して信頼回復に努めたいと思います。

また、DPC対象病院のため長期入院は困難ですが、大学と病病連携を取りながら自宅退院前の短期入院や手術待ちされている良性疾患の患者様などの受け入れも頑張っけてゆきたいと考えていますので、よろしくお願い致します。

社会医療法人山弘会「上山病院」



荒木 浩

横井川規臣

上山病院は寝屋川警察の斜め向かいの外環状線沿いにあります。歩いて数分の距離に小松病院、藤本病院、星光病院もある病院銀座で、以前は外科学教室の関連病院も集中している医療圏でしたが、今は香里病院を除いて寝屋川市内で関連病院は上山病院だけになりました。

平日の外来診療や夜診・当直では外科学講座の先生方にご協力いただき、定期的に手術の応援にも来ていただいて、荒木と横井川の常勤医二人で何とか日々の業務をこなしています。午前診・夜診には9人、当直帯では7人の外科医局の先生方に来ていただき、乳腺外来にも先生を派遣していただいています。寝屋川市という大学病院に近い立地と、権教授のご高配により上山病院の診療体制が維持できていること有り難く思っています。

回復期リハビリ病棟を含め病床数は189床ですが、中規模の民間病院を取り巻く医療情勢は厳しいものがあり何らかの特色が無ければ生き残っていけない時代になっています。上山病院は脳神経外科と整形外科を中心とする救急病院であり、救急診療によって社会医療法人の認定を受けていますが、救急依頼件数の減少傾向と共に腹部救急の依頼はほとんど無いと言っても過言ではありません。また昨今の大病院志向もあり悪性疾患数は減少しています。その中でも上山病院での治療を選択していただける患者さんには、手術・化学療法・緩和医療・在宅療養などトータルサポートを提供する態勢を整えています。施設としては化学療法センターの整備や訪問看護ステーションを有していることが強みであり、一貫した医療を提供できる理由だと考えています。

大学病院からは術後の自宅療養移行・退院調整を目的とした転院依頼が多く、入院中から訪問看護と協働して実績を上げています。また進行再発や終末期の患者さんの受け入れ態勢はスタッフの教育も含めて整っています。消化管腹腔鏡手術を行える機材も整いましたので、手術症例についても大学病院の先生方には上山病院を上手く利用していただければと考えております。

上山病院を今後ともよろしく願い申し上げます。

医療法人藤井会「北河内藤井病院」



川口雄才

昭和57年卒の川口雄才と申します。

大学在学中は上部消化管、特に食道癌手術や癌化学療法に専念し、この他にも代替医療や緩和医療などにも、少なからず関わって参りました。

大学には約26年という長い間お世話になりましたが、平成20年に大学を辞した後、一般病院に勤務する事になりました。

現在は、四條畷市にあります北河内藤井病院で病院長をして居ります。

当院は45床と小さな病院で、常勤医師も私を含めて3人(外科医1人、内科医1人、脳外科医1人)と少ないですが、急性期病院として消化器疾患を中心に地域に密着した医療を心掛けて居ります。

その様な事から、それぞれの専門性を活かして、外科は手術を、内科は高血圧、糖尿病、高脂血症など、そして脳外科は手術を行っていませんが認知症やリハビリをメインに診療を行って居ります。

外科の手術は、私が赴任した平成28年当初は手術症例数も少なく、月に1~2例という状況でした。

しかし現在は、大学から手術応援に来て頂いているお陰で、週1~2例に手術症例も増えて来るようになりました。

手術症例数としてはまだまだ少ないですが、急性虫垂炎、鼠径ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、痔核、イレウス、胆石、胃癌、大腸癌、転移性肝癌、膵臓癌、腹膜播種手術などを行って居ります。

また今年の10月からは、関西医科大学外科学教室より若い先生が出向で来て頂くことになり、外科医も2人態勢になりますので、とても楽しみにして居ります。

今後は、手術や診察および当直など様々な面で医局の先生方に支えてもらいながら、地域の皆様に信頼いただける病院を目指して、日々努力して参りたいと思っております。

これからも何卒よろしくお願い申し上げます。

特定医療法人清翠会 「牧病院」



スタッフ（*は非常勤）

佐藤 睦哉

*二階堂 任

*松井 康輔

*廣岡 智

*八田 雅彦

*吉田 明史

Special thanks: * 斉藤隆道、* 上田創平

その他も多数の外科の先生方にお手伝いいただいております。

1. 病院概要

標榜科: 整形外科 内科 外科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 麻酔科 リハビリテーション科 リウマチ科 放射線科

病院種別: 一般病院

病床数: 80床（一般病床80床）

病院特色: 牧病院は大阪市北東部の旭区（人口10万人）、隣接市の守口市（人口15万人）の境界に位置している。主な診療圏は半径3km以内にあり、旭区の高齢化率は20%を超え、医療福祉において地域密着型の病院である。下記に示す経営方針を職員に周知徹底し、実現するよう取り組んでいる。

基本方針

1. 整形外科・消化器疾患を中心とした質の高い急性期医療を提供する。
2. 地域の医療機関、福祉施設と連携を取りながら、地域ネットワーク型の保健医療福祉システムをつくる。
3. 1次、2次救急病院として、24時間365日対応する。

2. 外科の近況

関西医科大学附属病院との連携で胃癌に対する審査腹腔鏡検査を行っております。

消化管、胆のうの手術は基本的に腹腔鏡下手術を行っております。

鼠径ヘルニア手術に関しても8割以上の症例で腹腔鏡手術で行っております。

痔疾患に関してはALTA療法（ジオン注）、PPH等の疼痛の少ない治療を心がけており、治療成績も良好でした。

また、院内の消化器内科、放射線科との連携でERCPを含めた内視鏡治療及び血管造影等により迅速かつ広範囲な消化器の治療に取り組んでいます。

医療法人明生会 「明生病院」



小松優治

大阪、京橋にあります明生病院です。駅周辺は変わらず、飲食店が多数建ち並び、仕事帰りのサラリーマンで賑わっております。なかなかまっすぐ家に帰るのが困難な立地です。

病院は古い建物、体制のままですが、(数部屋は内装が綺麗になってます)

平成27年4月から関西医科大学からの出向が一人となり、大学院生に外来や緊急オペも手伝って頂き、なんとか年間400件ほどの手術(うち中心静脈ポート200件、内シャント術100件ですが、)をこなしております。

最近では、近隣の大病院からの多くの合併症をかかえた、一般病院では管理不可能な慢性期の患者さんも積極的に受け入れし、少しでも大病院に貢献できるよう努力しております。

急性アルコール中毒を中心とする救急搬送の件数は激減しておりますので、当直はかなり快適になっています。(病院経営的には心配ですが、)

最後に、外科を志す若い先生方の外科手術手技の向上のため少しでもお役に立てたらと思っています。是非明生病院へお立ち寄りください。

森之宮病院



小倉徳裕

森之宮病院は旧大道病院から新築移転し約10年が経過していますが、まだまだ綺麗な病院です。また、大阪城公園からも近く大阪市内では緑が多い地域で周囲の環境も良好です。森之宮病院がある城東区は高齢化率が日本でも有数な地域で高齢のご夫婦や独居の世帯が多く、10年後の日本を見ているようです。地域性を反映し外科の手術症例の多くが80歳以上で、最高齢では98歳の患者さんの結腸がんの手術も経験しました。また近隣には大阪府立成人病センターや国立病院機構大阪医療センター、大阪日赤病院、大手前病院など大病院が多数ありますが、それらの病院から漏れた患者さんの受け皿になっています。

森ノ宮病院といえばまずリハビリテーションが有名で病床の半分(約150床)を占め、すべての病棟にリハビリ施設が設けられており、高齢の術後患者さんが寝たきりにならないよう術後早期からのリハビリテーションが可能です。近年では心臓血管センターも開設され、大血管のステントや外科手術、末梢血管のステントに特化した治療が行われています。

消化器、一般外科としては、旧大道病院から引き続いて勤務されている大沢 常秀部長と私、小倉 徳裕の二人で診療と手術にあたっています。手術室は3室ですが広く使い勝手が良いものです、また、麻酔科医は常勤3人体制で緊急手術時もストレスがありません。

二人でやれる範囲ですので症例は胃、結腸、直腸がん、胆石、急性胆嚢炎、急性虫垂炎、そけいヘルニア、急性腹症、イレウスなどで、紹介や院内発生の患者さんを中心に診療しています。地域も高齢化していますが、われわれ外科医も高齢化しています、大学から遠くあまり交流はありませんが若手の先生で大阪市内の病院で働きたい方がいらっしゃれば大歓迎ですので連絡お願いします。

2016年度外科学講座行事



2016年4月11日
第2回日本小児へそ研究会



2016年4月23日
第2回関西血管外科倶楽部

2016年5月21日
外科新入局歓迎会
～GARB weeks～





2016年6月2-4日
第28回日本肝胆膵外科学会



2016年9月3日
外科親睦会 & 入局勧誘会
～枚方河川敷BBQ～



2016年10月8日
第3回関西血管外科倶楽部

秋の宝探しハイキング & フットサル大会
～ 交野吊橋星のブランコ & 御殿山コスパ ～



2016年11月12日
外科秋のレクリエーション



2016年11月19日
未来のブラックジャックは君だ





2017年1月28日
第3回関西血管外科
基本手技ビデオセミナー



2017年3月4日
第20回関西がんチーム医療研究会



2017年3月11日
第30回日本小児脾臓研究会

濱田吉則先生 退任記念祝賀会

2017年3月25日 リーガロイヤルホテル大阪 光琳の間



2017年3月25日
濱田吉則先生退任記念祝賀会



2017年3月28日
学位授与式
(山木壮先生、矢内洋次先生)



2016年 外科学講座業績一覧

松井陽一【関西医科大学付属病院 准教授】

論文(3)

1. Matsui Y, Hirooka S, Ryota H, Yamamoto T, Yanagimoto H, Satoi S, Kon M. Safety of laparoscopic cholecystectomy after coronary artery bypass with the right gastroepiploic artery. *Surgery*. 2016; 160: 252-4.
2. Matsui Y, Hirooka S, Yamaki S, Yamamoto T, Yanagimoto H, Satoi S, Kon M. Prevention of postoperative bile leakage using an omental plugging technique for subtotal cholecystectomy in the "difficult gallbladder" *Surgery*. 2017;161:565-7.
3. Matsui Y, Yamaki S, Hirooka S, Yamamoto T, Yanagimoto H, Satoi S, Kon M. Evaluation of relative criteria for single-incision laparoscopic cholecystectomy. *Asian J Surg*. In press.

濱田 洋【関西医科大学付属病院 病院助教】

論文(1)

1. 濱田 洋、濱田吉則、白井 剛、中村有佑、高橋良彰、佐藤正人、金本真也、権 雅憲. Nuss 手術後の感染性心タンポナーデ、小児外科. 2016; 48: 813-816

発表(6)

1. 濱田 洋、白井 剛、服部健吾、中村有佑、濱田吉則. 当科で経験した異所性膵6例の検討. 第53回日本小児外科学会 福岡 2016.5.25
2. 濱田 洋、飯田洋也、松井陽一、権 雅憲. 術中subvesical bile duct(Luschka管)からの損傷が疑われた一例. 第28回 肝胆膵外科学会 大阪 2016.6.4
3. 濱田 洋、白井 剛、廣瀬崇人、住山房央、中村有佑、諸富嘉樹、濱田吉則. 鼠径管内に発生した血管腫の1例. 第52回小児外科近畿地方会 大阪 2016.8.27
4. 濱田 洋、住山房央、白井 剛、中村有佑、松井陽一、濱田吉則. 生後3か月からみられた胆嚢結石 -その原因は?- . 小児外科わからん会 大阪 2016.9.24
5. Hiroshi Hamada, Yoshinori Hamada, Takeshi Shirai, Masahito Sato. The role of laparoscopic surgery in the treatment of intussusception. *WOFAPS Washington DC* 2016.10.13
6. 濱田 洋、坂口達馬、白井 剛、中村有佑、濱田吉則. Low Grade fibromyxoid sarcoma 8歳男児の腹壁に発症した1例. 日本小児・血液がん学会 東京 2016.12.16

山田正法【関西医科大学総合医療センター 診療講師】

論文(1)

1. 山田正法、中井宏治、井上健太郎、脇川 健、北出浩章、吉岡和彦、権 雅憲. 胃癌術後縫合不全に対する内視鏡の有効性. 癌と化学療法. 2016;43: 1277-1279

発表(2)

1. 山田正法、中井宏治、井上健太郎、脇川 健、北出浩章、吉岡和彦、権 雅憲. 胃癌術後縫合不全に対する内視鏡の有効性、第 37 回癌免疫外科研究会 川越市、2016.5.13
2. 山田正法、中井宏治、井上健太郎、脇川 健、北出浩章、石井一慶、吉岡和彦、権 雅憲. 食道空腸吻合に苦慮した胃癌・悪性リンパ腫の重複癌症例. 第 38 回日本癌局所療法研究会、東京都新宿区、2016.6.10

稲田 涼【関西医科大学付属病院 助教】

論文(2)

1. Ryo Inada, Norimasa Fukata, Takashi Ito, Madoka Hamada, A Case of Aneurysmal Lymphoma of the Small Intestine, *Jpn J Clin Oncol*, 2016, 46: 288-289
2. Ryo Inada, Masaharu Oishi, Tomoko Matsumoto, Shigeyoshi Iwamoto, Taku Michiura, Kentaro Inoue, Masanori Kon, Toshiro Fukui, Kazuichi Okazaki, Madoka Hamada, Successful Laparoscopic Treatment for Refractory Rectovaginal Fistula of Behçet's Disease: A Case Report and Review of the Literature, *International surgery*, 2016, in press

発表(14)

1. 稲田 涼、岩本慈能、海堀昌樹、石崎守彦、飯田洋也、松井康輔、大石賢玄、松本朝子、道浦 拓、井上健太郎、権 雅憲、濱田 洋. CT 検査による大腸癌肝転移に対する術前化学療法後の切除適応の検討: 予後および効果予測因子としての Morphologic response の意義. 第 84 回大腸癌研究会, 熊本, 2016.1.15
2. Ryo Inada, Shigeyoshi Iwamoto, Masaki Kaibori, Morihiko Ishizaki, Hiroya Iida, Kosuke Matsui, Masaharu Oishi, Tomoko Matsumoto, Taku Michiura, Kentaro Inoue, Masanori Kon, and Madoka Hamada, Histological Tumor Regression after Preoperative Chemotherapy for Colorectal Liver Metastases: Correlations with Radiological response and Prognosis, *ASCO GI, サンフランシスコ*, 2016.1.23
3. 稲田 涼. 術前化学療法後に切除した大腸癌肝転移症例の検討, 大腸癌治療セミナー in 枚方, 枚方, 2016.2.19
4. 稲田 涼、大石賢玄、松本朝子、吉川勝広、三木博和、向出裕美、尾崎 岳、道浦 拓、井上健太郎、岩本慈能、権 雅憲、濱田 洋. 経肛門ドレーンおよび画像診断を用いた直腸癌低位前方切除術後の臨床的縫合不全を減らす新しい試み. 第 116 回日本外科学会定期学術集会, 大阪, 2016.4.16
5. 稲田 涼、大石賢玄、岩本慈能. 一次治療としての FL/Cape+Bmab, C-Cubed study boost up meeting in Okayama, 岡山, 2016.6.22
6. Ryo Inada, Kenta Murotani, Shigeyoshi Iwamoto, Masaki Kaibori, Morihiko Ishizaki, Hirokazu Iida, Kosuke Matsui, Masaharu Oishi, Tomoko Matsumoto, Taku Michiura, Kentaro Inoue, Masanori Kon, and Madoka Hamada, Correlation of histological Tumor Regression Grading (TRG) with radiological response and long-term outcome after preoperative chemotherapy for Colorectal Liver Metastases: a propensity score matching analysis, *ESMO GI, ハルセロナ*, 2016.7.1
7. 稲田 涼、小林壽範、大石賢玄、松本朝子、向出裕美、尾崎 岳、道浦 拓、井上健太郎、権 雅憲、濱田 洋. 低位前方切除後の臨床的縫合不全ゼロを目的とした経肛門ドレーンおよび造影画像診断による新しい取り組み, 第 71 回日本消化器外科学会総会, 徳島, 2016.7.14
8. 稲田 涼、岩本慈能、大石賢玄、松本朝子、三木博和、向出裕美、尾崎 岳、道浦 拓、井上健太郎、権 雅憲、濱田 洋. 切除不能進行再発大腸癌に対するレゴラフェニブ療法の使用経験. 第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 神戸, 2016.7.28
9. 稲田 涼. 切除不能大腸癌の予後因子の検討, *Colorectal Cancer Leadeers Meeting*, 大阪, 2016.9.2
10. 稲田 涼、岩本慈能、海堀昌樹、石崎守彦、松井康輔、大石賢玄、繁光 薫、道浦拓、井上健太郎、権 雅憲、濱田 洋. 大腸癌肝

転移化学療法後の予後および効果予測因子としての Morphologic response の意義. 第 54 回日本癌治療学会, 横浜, 2016.10.22

11. 稲田 涼, 室谷健太, 岩本慈能, 海堀昌樹, 石崎守彦, 松井康輔, 大石賢玄, 松本朝子, 道浦 拓, 井上健太郎, 三嶋秀行, 権雅憲, 濱田 円. 術前化学療法を施行した大腸癌肝転移切除症例における tumor regression grade の意義: 傾向スコアを用いた解析. 第 24 回 JDDW, 神戸, 2016.11.5
12. 稲田 涼, 小林壽範, 大石賢玄, 松本朝子, 繁光 薫, 三木博和, 向出裕美, 尾崎 岳, 道浦 拓, 井上健太郎, 権雅憲, 濱田 円. 大腸癌に対するハルトマン手術後の人工肛門閉鎖術の治療成績の検討. 第 71 回日本大腸肛門病学会, 三重, 2016.11.18
13. 稲田 涼, 小林壽範, 大石賢玄, 松本朝子, 繁光 薫, 住山房雄, 八田雅彦, 三木博和, 向出裕美, 尾崎 岳, 道浦 拓, 井上健太郎, 権雅憲, 濱田 円. 双孔式人工肛門閉鎖における吻合法の検討: 間膜対側吻合法の有用性について. 第 77 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2016.11.25
14. 稲田 涼, 小林壽範, 大石賢玄, 松本朝子, 繁光 薫, 住山房央, 八田雅彦, 三木博和, 向出裕美, 尾崎 岳, 道浦 拓, 井上健太郎, 権雅憲, 濱田 円. 腹腔鏡下大腸切除術における創感染のリスク因子および高圧洗浄法の有効性の検討. 第 29 回日本内視鏡外科学会総会, 横浜, 2016.12.9

津田 匠【関西医科大学付属病院 助教】

発表(1)

1. 津田 匠, 菱川秀彦, 海堀昌樹, 権雅憲, 山田啓一郎, 中村誠司, 原 功, 小関英一. インドシアニングリーン・ラクトソームを用いた肝細胞癌診断・治療の検討. 第37回日本レーザー医学会 北海道旭川 2016.10.22

山中英治【若草第一病院】

論文(4)

1. 山中英治. ケース別 輸液管理をマスター—術前術後—, Nutrition Care, 2016, 9: 136-139
2. 山中英治. クリニカルパスとセレンディピティ, 日本クリニカルパス学会雑誌, 2016, 18: 131-134
3. 山中英治. 消化・吸収・代謝のしくみと栄養素の働き, ニュートリションケア 2016 年秋季増刊(通巻 101 号), 山中英治編, メディカ出版, 大阪, 2016
4. 山中英治. 創傷治癒のプラスアルファになる栄養素コラーゲンペプチドの働き, 褥瘡・創傷治療ケアアップデート, 真田弘美編, 照林社, 東京, 2016, 178-182

発表(10)

1. 山中英治. 輸液栄養サポートとチーム医療, 第 64 回奈良県病院薬剤師 NST 研究会, 奈良, 2016.3.3
2. 山中英治. 地域包括栄養サポート, 平成 28 年貝塚市医師会学術講演会, 大阪, 2016.4.21
3. 山中英治. 経腸栄養の基礎, 第 15 回 PEN 入門セミナー, 大阪, 2016.6.4
4. 山中英治. 診療支援業務と配置部署による診療の流れ, 平成 28 年日本病院会医師事務作業補助者研修会, 大阪, 2016.6.25
5. 山中英治, 岡田晋吾, 真田弘美. コラーゲンペプチドの褥瘡治療への臨床効果—多施設共同ランダム化比較試験—, 第 53 回日本外科代謝栄養学会学術集会, ワークショップ, 東京, 2016.7.7
6. 山中英治. 高齢者の栄養サポート, 第 18 回日本褥瘡学会学術集会, シンポジウム, 横浜, 2016.9.2
7. 山中英治. 気楽にできる院内パス活動, 2016 年度日本クリニカルパス学会教育セミナー, 福島, 2016.9.10
8. Hideharu Yamanaka. A Randomized, Controlled Study of the Use of Collagen Peptides to Facilitate the Healing of Pressure Ulcers, 38th ESPEN Congress, Denmark, 2016.9.18
9. 山中英治. 高齢化社会における地域医療のための NST 第 12 回宮城 NST 研究会, 石巻, 2016.10.29
10. 山中英治. 創傷治癒促進のための栄養サポート, 第 46 回日本創傷治癒学会, シンポジウム, 東京, 2016.12.9

中竹利知【関西医科大学付属病院 病院助教】

論文(3)

1. Nakatake R, Tanaka Y, Ueyama, Miki H, Ishizaki M, Matsui K, Kaibori M, Okumura T, Nishizawa M, Kon M. Protective effects of active hexose correlated compound in a rat model of liver injury after hepatectomy., Functional Foods in Health and Disease, 2016; in press.
2. Nakatake R, Tsuda T, Matsuura T, Miki H, Hishikawa H, Matsushima H, Ishizaki M, Matsui K, Kaibori M, Okumura T, Nishizawa M, Kon M. Genipin inhibits the induction of inducible nitric oxide synthase through the inhibition of NF- κ B activation in rat hepatocytes. Drug Metabolism Letters, 2016; in press.
3. Nakatake R, Hamada Y, Miki H, Shirai T, Nakamura Y, Hamada H, Ishizaki M, Kon M, A case of Hirschsprung's disease underwent surgery in adulthood, Journal of Pediatric Surgery Case Report. 2016; 13: 1-5.

発表(2)

1. 中竹利知, 海堀昌樹, 中村有佑, 稲生靖, 藤堂具紀, 権雅憲. 第三世代がん治療用HSV-1を用いた肝細胞癌の新規治療戦略. 第116回日本外科学会定期学術集会 大阪 2016.4.14
2. Richi Nakatake, Yoshito Tanaka, Yousuke Ueyama, Hirokazu Miki, Morihiko Ishizaki, Kosuke Matsui, Masaki Kaibori, Tadayoshi Okumura, A-Hon Kwon, Alleviating effect of active hexose correlated compound prevents endotoxin-induced liver injury after partial hepatectomy in rats. ESPEN2016 コペンハーゲン 2016.9.17

濱田吉則【関西医科大学付属病院 診療教授】

論文(5)

1. Yoshiaki Takahashi, Yoshinori Hamada. Tube Gastrostomy and Enterostomy. Operative General Surgery in Neonates and Infants, Springer, Ed. T. Taguchi, T. Iwanaka, T. Okamatstu, Chapter 6, 2016; 41-47,
2. Yoshinori Hamada. Colostomy: Creation and Closure. Operative General Surgery in Neonates and Infants, Springer, Ed. T. Taguchi, T. Iwanaka, T. Okamatstu, Chapter 7, 2016; 49-54,
3. Yoshinori Hamada. Gastrointestinal Anastomosis. Operative General Surgery in Neonates and Infants, Springer, Ed. T. Taguchi, T. Iwanaka, T. Okamatstu, Chapter 8, 2016: 55-58,
4. Yoshinori Hamada, Hisami Ando, Terumi Kamisawa, Takao Itoi, Naoto Urushihara, Tsugumichi Koshinaga, Takeshi Saito, Hideki Fujii, Yoshiki Morotomi The Japanese Study Group on Pancreaticobiliary Maljunction. Diagnostic criteria for congenital biliary dilatation 2015. J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2016; 23: 342-346,
5. 濱田吉則. 先天性胆道拡張症の診断基準. 日本消化器病学会雑誌. 2016; 113 : 1998-2003,

発表(2)

1. Y. Hamada, H. Ando, T. Kamisawa, T. Itoi, N. Urushihara, T. Koshinaga, T. Saito, H. Fujii, Y. Morotomi, The Japanese Study Group on Pancreaticobiliary Maljunction (JSGPM).Hepatobiliary Session, Keynote Lecture.Congenital Biliary Dilatation: Diagnostic Criteria 2015.The 24th Congress of the Asian Association of Pediatric Surgeons, Fukuoka, 2016.5.25
2. 濱田吉則, 安藤久實, 藤井秀樹, 神澤輝美, 糸井隆夫, 漆原直人, 越永從道, 齋藤 武, 諸富嘉樹.特別企画 6 膵・胆管合流異常の問題点と展望.膵・胆管合流異常, 先天性胆道拡張症の診断基準.第 71 回日本消化器外科学会 徳島 2016.7.15

佐藤正人【北野病院】

論文(3)

1. 佐藤正人. 特集:小児内視鏡外科手術:脾摘および縫合による技術審査にむけて. 小児外科. 2016; 48: 363-365
2. Masahito Sato. intussusception/appendectomy.Operative Genaral Surgery in Neonates and Infants: Springer.T Tagichi, T Iwanaka, T Okamatsu 2016; 221-231
3. 佐藤正人. 腔内遺物. 救急での遺物除去 羊土社.千代孝夫編. 2016; 161-173

発表(15)

1. 佐藤正人, 鈴木久美子, 林 宏昭, 宮内雄也, 服部健吾, 中村有佑, 濱田吉則. 小児腹腔鏡下脾臓摘出術における合併症. 第29回日本小児脾臓研究会 松本 2016.3.5
2. 佐藤正人, 伊勢一哉, 内田恵一, 緒方宏美, 増山宏明, 諸富嘉樹, 安福正男, 和田 基, 河野美幸, 濱田吉則. 新生児消化管穿孔の実態調査(2013年新生児消化管穿孔についてのアンケート結果より) 第53回日本小児外科学会総会 博多 2016.5.24
3. 佐藤正人, 鈴木久美子, 林 宏昭, 服部健吾, 宮内雄也, 園田真理, 濱田吉則. 新生児横隔膜疾患に対する内視鏡手術症例の検討. 第53回日本小児外科学会総会 博多 2016.5.24-26
4. 佐藤正人, 鈴木久美子, 林 宏昭, 服部健吾, 宮内雄也, 中村有佑, 濱田吉則. 小児腹腔鏡下脾臓摘出術における合併症症例の検討. 第53回日本小児外科学会総会 博多 2016.5.24-26
5. Masahito Sato, Masashi Oae, Kumiko Suzuki, Hiroaki Hayashi. Laparoscopic surgery for Zinner syndrome in a 6-month-old infant. IPEG's 25th annual congress for endodorgery in children. Hakata Japan 2016.5.24-28
6. 佐藤正人, 鈴木久美子, 林 宏昭, 大饗政嗣. 繰り返す左下腹部痛の原因が Nutcracker syndrome と考えられた1例:その後の報告一卵巣静脈塞栓術の有用性. 第25回日本小児泌尿器科学会総会 京都 2016.6.28-30
7. 佐藤正人, 鈴木久美子, 林 宏昭, 服部健吾, 宮内雄也, 園田真理. 当院における oncologic emergency 症例の検討. 第30回日本小児救急医学会. 仙台 2016.7.1-2
8. 佐藤正人, 鈴木久美子, 林 宏昭, 遠藤耕介, 当院における腸重積症治療の現状 第5回日本小児診療多職種研究会. 横浜 2016.7.30-31
9. 佐藤正人, 鈴木久美子, 遠藤耕介, 林 宏昭, 服部健吾, 宮内雄也, 宮内玄徳, 畠山 理. われわれの腹腔鏡下総胆管拡張症手術. 第39回日本膵・胆管合流異常研究会. 東京. 2016.9.10
10. 佐藤正人, 畠山 理, 宮内玄徳, 鈴木久美子, 服部健吾, 宮内雄也, 林 宏昭, 遠藤耕介. われわれの腹腔鏡下総胆管拡張症手術症例の検討. 第36回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会, 大宮. 2016.10.27-28
11. 佐藤正人, 鈴木久美子, 遠藤耕介, 服部健吾, 白井 剛, 中村有佑, 林 宏昭, 濱田吉則. 腹腔鏡下 Hirschsprung 病手術術後に再 pull through 手術を施行した4症例の検討. 第36回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会. 大宮 2016.10.27-28
12. 佐藤正人, 鈴木久美子, 遠藤耕介. Nuss 法再手術例の経験一反省をふまえて. 第16回Nuss 法漏斗胸手術手技研究会 徳島 2016.11.4
13. 佐藤正人, 鈴木久美子, 濱田吉則. 腹腔鏡下 Hirschsprung 病手術における追加手術. 第78回日本臨床外科学会総会 東京 2016.11.24-26
14. 佐藤正人, 鈴木久美子, 遠藤耕介, 服部健吾, 宮内雄也, 園田真理, 林 宏昭, 濱田吉則. 小児の術式:腹腔鏡下脾臓摘出術. 第29回日本内視鏡外科学会総会 横浜 2016.12.8-10
15. 佐藤正人, 畠山 理, 宮内玄徳, 鈴木久美子, 遠藤耕介. 腹腔鏡下総胆管拡張症術後に判明した右後区域胆管枝損傷. 第29回日本内視鏡外科学会総会 横浜 2016.12.8-10

吉岡和彦【関西医科大学総合医療センター 特命教授】

発表(2)

1. K.Yoshioka.Graciloplasty for fecal incontinence. International Colorectal Research Summit.Seoul 2016.9.4
2. 吉岡和彦, 中谷和義, 徳原克治, 権 雅憲. Graciloplasty for fecal incontinence. 第 71 回日本大腸肛門病学会, 日韓合同シンポジウム 三重 2016.11.18

脇川健【関西医科大学総合医療センター 助教】

論文(3)

1. 脇川 健, 北出 浩章, 柳田 英佐, 山田 正法, 吉岡 和彦, 権 雅憲. 膵切除前後の膵内分泌機能の変化. 癌と化学療法.2016; 43: 1268-1270
2. 脇川 健, 山田正法, 権 雅憲. 腔式子宮全摘術後に 2 度の腔断端離開により小腸脱出をきたした症例. 日本腹部救急医学会雑誌. 2016; 36: 1149-1151
3. 脇川 健, 北出浩章, 柳田英佐, 山田正法, 末岡憲子, 植田 子, 坪田 優, 山本 悟, 吉岡和彦, 権 雅憲. 膵・胆管合流異常に合併した胆嚢癌・乳癌重複癌の 1 例. Jpn J Cancer Chemother.2016; 43: 2103-2105

発表(3)

1. 脇川 健, 北出 浩章, 柳田 英佐, 山田 正法, 吉岡 和彦.腹腔鏡下手術におけるタコシル搬入法の工夫.第 29 回日本内視鏡外科学会総会 横浜 2016.12.8-10
2. 脇川 健, 北出 浩章, 柳田 英佐, 山田 正法, 吉岡 和彦, 権 雅憲. 当院における膵切除術後の膵内分泌機能の変化. 第 37 回癌眼免疫外科研究会 川越 2016.5.12-13
3. 脇川 健, 北出 浩章, 柳田 英佐, 山田 正法, 吉岡 和彦.膵・胆管合流異常に合併した胆嚢癌・乳癌重複癌の 1 例.第 38 回日本癌局所療法研究会 東京 2016.6.10

石崎守彦【関西医科大学付属病院 助教】

発表(9)

1. 石崎守彦. ビデオコンテスト. 第 11 回関西肝臓外科医育成の会 大阪 2016.1.30

- 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、中竹利知、坂口達馬、松島英之、井上健太郎、權 雅憲. 高度脈管侵襲を伴う進行肝細胞癌に対する長期予後を目指した集学的治療戦略. 第 116 回日本外科学会定期学術集会、大阪、2016.4.15
- 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、中竹利知、松島英之、坂口達馬、井上健太郎、權 雅憲. ソラフェニブ導入前後における intermediate stage の肝切除術後再発症例の肝予備能推移および治療成績の比較. 第 102 回日本消化器病学会総会、東京、2016.4.21
- 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、中竹利知、松島英之、坂口達馬、權 雅憲. 肝細胞癌術後再発症例に対する TACE 不応判定後からの sorafenib 導入症例の検討. 第 16 回関西肝血流動態・機能イメージ研究会、大阪、2016.6.25
- 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、中竹利知、松島英之、權 雅憲. 当科における腹腔鏡下再肝切除例の安全性に関する検討. 第 71 回日本消化器外科学会総会、徳島、2016.7.14
- 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、中竹利知、松島英之、坂口達馬、權 雅憲. Evaluation of safety of laparoscopic repeat hepatectomy for malignant liver tumor in our institution. 第 40 回国際外科学会世界総会、京都、2016.10.24
- 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、中竹利知、松島英之、權 雅憲. 肝細胞癌術後再発症例に対する intermediate stage からの sorafenib 導入症例の検討. 肝がん薬物療法の会、大阪、2016.10.18
- 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、中竹利知、松島英之、坂口達馬、權 雅憲. 肝細胞癌術後再発症例に対する intermediate stage からの sorafenib 導入症例の検討. JDDW2016、神戸、2016.11.5
- 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、中竹利知、松島英之、權 雅憲. 当科における腹腔鏡下再肝切除例の安全性に関する検討. 第 10 回肝臓内視鏡外科研究会、東京、2016.11.23

井上健太郎【関西医科大学付属病院 准教授】

論文(1)

- Inoue K, Michiura T, Fukui J, Mukaide H, Ozaki T, Miki H, Kobayashi T, Oishi M, Inada R, Matsumoto T, Yamada M, Yanagimoto H, Kim S, Satoi S, Kaibori M, Kon M, Hamada M. Surg Laparosc Endosc Percutan Tech. 2016 ;26:338-42

発表(14)

- 井上健太郎、道浦 拓、尾崎 岳、向出裕美、小林壽範、三木博和、中井宏治、金 成泰、神原達也、福井淳一、山田正法、權 雅憲、濱田 円. 肥満を伴う胃癌患者に対する高タンパク低カロリー食による術前減量- 第 2 相試験 -、第 88 回日本胃癌学会総会、パネルディスカッション、大分、2016.3.17-19
- 井上健太郎. 肥満・糖尿病治療への新たなオプション -腹腔鏡下スリーブ手術-、関西医科大学健康科学センター 地域医療連携会、特別講演、関西医科大学付属病院、2016.4.9
- 井上健太郎. 医師会の先生方が可能にする日本医療経済の発展 -胃がん、そして肥満-、第 300 回 枚方市交野市合同勉強会、特別講演、枚方市、2016.4.16
- Kentaro Inoue, Yan MA, Yin IVY, Akie Seno, Laurent METZ, The first meta-analysis in the clinical outcomes of open gastrectomy with D2 lymphadenectomy using harmonic vs electro surgery in Asia, KINGCA, poster discussion, Korea, April 21 2016
- 井上健太郎. 消化管吻合におけるリンフォースカートリッジの使用経験. 第 12 回近畿腹腔鏡下胃切除セミナー、司会、大阪、2016.6.25
- 井上健太郎. 体内吻合を極める Hands on suturing seminar、第 34 回 日本肥満症治療学会学術集会、precongress コース、講師、東京、2016.7.2
- 井上健太郎、吉内佐和子、毛利恵子、吉田三嘉、中村夏子、中嶋佐和子、北村晃子、道浦 拓、尾崎 岳、向出裕美、三木博和、小林壽範、濱田 円、權 雅憲、木村 稔. 肥満を伴う胃癌手術に対するフォーミュラ食による術前減量の安全性と有効性(第 2 相臨床試験). 第 34 回日本肥満症治療学会学術集会、ポスター、東京、2016.7.1-2
- 井上健太郎、道浦 拓、向出裕美、尾崎 岳、三木博和、權 雅憲. 評価型外科縫合シミュレータの使用経験. 第 48 回日本医学教育学会大会、ポスター、大阪、2016.7.29-30
- 井上健太郎. 一般演題 5 一般 LECS、第 29 回近畿内視鏡外科研究会、司会、京都、2016.9.10
- 井上健太郎. 第 4 回近畿肥満外科治療研究会 一般講演 司会、京都、2016.10.1
- 井上健太郎. 第 14 回関西腹腔鏡下胃切除同好会、テクニカルセッション、コメンテーター、大阪、2016.10.8
- Kentaro Inoue, 40th World congress of the international college of surgeons、司会、京都、Oct 24 2016
- 井上健太郎. きたかわち LAG セミナー、特別講演 座長、大阪、2016.11.19
- 井上健太郎、向出裕美、尾崎 岳、道浦 拓、三木博和、大石賢玄、稲田 涼、小林壽範、繁光 薫、權 雅憲、濱田円. 肥満・糖尿病手術を安全に実施するために -多職種による内科的治療チームに外科医が加わった経験から-、第 29 回日本内視鏡外科学会総会、デジタルポスター、横浜、2016.12.8-10

中井宏治【関西医科大学総合医療センター 講師】

論文(1)

- 中井宏治.【イラスト図鑑の決定版! 消化・吸収・代謝のしくみと栄養素のはたらき】(第 1 章)臓器のしくみとはたらき 食道(解説/特集)、Nutrition care、2016 秋季増刊:14-17

発表(7)

- 中井宏治、北出浩章、山田正法、尾崎 岳、向出裕美、神原達也、金 成泰、道浦 拓、井上健太郎、權 雅憲. 看護師卒前教育における栄養教育と卒後教育の必要性. 第 31 回日本静脈経腸栄養学会、福岡、2016 年 2.25-26
- 中井宏治、山田正法、尾崎 岳、向出裕美、神原達也、金 成泰、道浦 拓、井上健太郎、權 雅憲. StageIIIc 胃癌に対する術後化学療法の検討. 別府、2016.3.17-19
- 中井宏治、山田正法、尾崎 岳、向出裕美、神原達也、金 成泰、道浦 拓、井上健太郎、權 雅憲. DCF による化学療法が奏功した食道癌多発肺転移と肝転移の 1 例. 第 70 回日本食道学会、東京、2016.7.4-6
- 中井宏治、山田正法、尾崎 岳、向出裕美、神原達也、金 成泰、道浦 拓、井上健太郎、權雅憲. 食道癌化学療法中に発症した高アンモニア血症の 2 例. 第 71 回日本消化器外科学会、徳島、2016.7.14-16
- 中井宏治、山田正法、尾崎 岳、向出裕美、神原達也、金 成泰、道浦 拓、井上健太郎、權 雅憲. 十二指腸断端の縫合不全から重症化した残胃癌の 1 例. 第 3 回栄養管理指導者協議会、東京、2016.9.24
- 中井宏治、山田正法、尾崎 岳、向出裕美、神原達也、金 成泰、道浦 拓、井上健太郎、山道啓吾、權 雅憲. 食道癌 NAC 症例の検討. 第 54 回日本がん治療学会、2016.10.20-22
- 中井宏治、山田正法、尾崎 岳、向出裕美、神原達也、金 成泰、道浦 拓、井上健太郎、山道啓吾、權 雅憲. 残胃に再発した小細胞癌の 1 例. 第 78 回日本臨床外科学会、2016.11.24-26

坂下英樹【関西医科大学総合医療センター 講師】

論文(1)

1. 坂下英樹 大久保縁 山本暢子 山尾順 深山紀幸 駒井宏好. コメディカルによる足病変早期発見への取り組み:「滝井フットスキャン」の有用性の検討 日本フット毛学会雑誌投稿中

発表(3)

1. 坂下英樹、山本暢子、深山紀幸、駒井宏好: 急性増悪を来した、発症機転不明の大動脈閉塞の一治験例. 血管外科同好会 大阪 2016.2.13
2. 坂下英樹、山本暢子、深山紀幸、駒井宏好. Klippel-Trenauney 症候群の1手術例. 静脈学会総会 弘前 2016.6.23
3. 坂下英樹、山本暢子、深山紀幸、駒井宏好. 外傷による前脛骨動脈損傷 .外科同好会大阪 2016.8.6

遠藤香代子【関西医科大学付属病院 病院助教】

発表(1)

1. 遠藤香代子,矢内洋次,松本真由美,杉江知治,伊藤敬. 当院において経験した乳房 Paget 病 11 例の検討. 乳癌学会 東京 2016.6.16-18

坂口達馬【関西医科大学付属病院 大学院生】

論文(4)

1. Tatzuma Sakaguchi, Yoshinori Hamada, Yusuke Nakamura, Hiroshi Hamada, A-Hon Kwon. Absence of the interstitial cells of Cajal in a neonate with segmental dilatation of ileum. J Ped Surg Case Reports 2016; 5: 19-22
2. Tatzuma Sakaguchi, Yoshinori Hamada, Yusuke Nakamura, Hiroshi Hamada, Takeshi Shirai, Hirotsugu Yanai, Masanori Kon. Congenital prepubic sinus: a case report and review of the literature. J Ped Surg Case Reports 2016; 8: 22-26
3. Tatzuma Sakaguchi, Yoshinori Hamada, Yusuke Nakamura, Takeshi Shirai, Hiroshi Hamada, Masanori Kon. Low-grade fibromyxoid sarcoma of the abdominal wall in an 8-year-old boy. J Ped Surg Case Reports 2016; 15: 1-4
4. 坂口達馬, 権雅憲. 消化・吸収・代謝のしくみと栄養素のはたらき: 肝臓. ニュートリションケア. 山中英治編. メディカ出版. 大阪. 2016; 秋季増刊 30-33

金 成泰【関西医科大学香里病院 診療講師】

発表(2)

1. Songtae Kim, Tatsuya Kanbara, Satoshi Okazaki, Sayaka Kanematsu, Hideyuki Yoshida, Ryo Yoshida, Kentaro Inoue, Koji Nakai, Madoka Hamada, Masanori Kon. Analysis of pStage IV gastric cancer long-term survived which carried out gastrectomy during treatment passage. 日本消化器外科学会、徳島市、2016.07.16
2. 金 成泰, 神原達也, 岡崎 智, 兼松清果, 吉田秀行, 吉田 良, 井上健太郎, 道浦 拓, 尾崎 岳, 向出裕美, 中井宏治, 山田正法, 濱田 円, 権 雅憲. 進行・再発胃癌に対する PTX+Ramucirumab 治療施行症例の検討. 日本癌治療学会、横浜市、2016.10.22

北川克彦【若草第一病院】

論文(1)

1. 北川克彦, 中本博之, 小田道夫, 山中英治, 高月権治, 玉井千里. 局所切除にて27カ月無再発の 90 歳直腸肛門部悪性黒色腫の1例. 日本臨床外科学会雑誌、2016; 77: 2016-2021

小坂 久【関西医科大学付属病院 助教】

発表(6)

1. 小坂 久, 里井壯平, 柳本泰明, 山本智久, 廣岡 智, 山木 壮, 小塚雅也, 良田大典, 松井陽一, 権雅憲. 当院における膵頭十二指腸切除術後肝管空腸吻合部狭窄とその処置方法. 第 33 回日本胆膵病態生理研究会、大阪、2016.6.11
2. 小坂 久, 里井壯平, 柳本泰明, 山本智久, 廣岡 智, 山木 壮, 小塚雅也, 権 雅憲. 当科における膵切除術後ドレンマネージメントの検証. 第 43 回日本膵切研究会、東京、2016.8.19-20
3. Hisashi Kosaka, Sohei Sato, Hiroaki Yanagimoto, Tomohisa Yamamoto, Satoshi Hirooka, So Yamaki, Masaya Kotsuka, Masanori Kon. A verification of our criteria of drain removal after pancreas resection IASGO 2106, Seoul, 2016.9.8-10
4. 小坂 久, 里井壯平, 柳本泰明, 山本智久, 廣岡 智, 山木 壮, 小塚雅也, 道浦 拓, 井上健太郎, 松井陽一, 権 雅憲. 膵癌に対する術前治療後切除成績の比較検討: 術前放射線化学療法後切除(+SMA 半周神経叢郭清) vs 術前化学療法後切除. 第 11 回膵癌術前治療研究会、仙台、2016.10.15
5. Hisashi Kosaka, Sohei Sato, Hiroaki Yanagimoto, Tomohisa Yamamoto, Satoshi Hirooka, So Yamaki, Masaya Kotsuka, Taku Michiura, Kentaro Inoue, Yoichi Matsui, Masanori Kon. The comparison of clinical outcomes of pancreatic ductal adenocarcinoma resection following neoadjuvant chemoradiation therapy with routine nerve plexus resection vs. chemotherapy. 第 40 回国際外科学会世界総会、京都、2016.10.23-26
6. 小坂 久, 里井壯平, 柳本泰明, 山本智久, 廣岡 智, 山木 壮, 小塚雅也, 権 雅憲. ドレーン除去基準に基づいた膵切除術後ドレンマネージメント. 第 78 回日本臨床外科学会総会、東京、2016.11.24-26

松島英之【関西医科大学付属病院 大学院生】

論文(1)

1. 松島英之, 海堀昌樹, 石崎守彦, 松井康輔, 権 雅憲. 肝癌と鑑別困難であった IgG4 関連疾患の 2 例. 日本臨床外科学会雑誌 2016; 77: 159-164

発表(2)

1. 松島英之, 飯田洋也, 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 権 雅憲. 肝硬変予測の新たなバイオマーカーとしての 平均血小板容積(MPV)・血小板比(PLT) の有用性. 日本外科学会 大阪 2016.4.14
2. 松島英之, 石崎守彦, 松井康輔, 海堀昌樹, 中竹利知, 権 雅憲. 胆管周囲嚢胞の 1 切除例. 第 19 回近畿外科病態研究会 大阪 2016.10.8

兼松清果【関西医科大学香里病院 助教】

発表(2)

1. 兼松清果, 吉田秀行, 岡崎 智, 神原達也, 金 成泰, 吉田 良, 田中完児, 権 雅憲. Luminal B (HER2 陽性) 乳癌脳転移に対し集学的治療にて長期生存を得ている2症例. 第24回日本乳癌学会学術総会 東京: 東京ビッグサイト 2016.6.16-18

2. 兼松清果、吉田秀行、田中完児、岡崎 智、神原達也、金 成泰、吉田 良、權雅憲. 当院におけるステレオガイド下マンモトーム生検の検討. 第14回日本乳癌学会近畿地方会 大阪: グランキューブ大阪 2016.12.3

吉川勝広【関西医科大学総合医療センター 病院助教】

発表(1)

1. 吉川勝広、末岡憲子、坪田優、石塚まりこ、山本大悟、權 雅憲. 子宮体癌乳癌転移の1例. 第14回乳癌学会近畿地方会.大阪 2016.12.3

中村有佑【関西医科大学付属病院 大学院生】

論文(1)

1. 中村有佑、濱田吉則、白井 剛、濱田 洋、八田雅彦、高橋良彰、服部健吾、權 雅憲. ヘソを使う手術の実際: 臍部人工肛門造設術. 小児外科.2016; 48: 323-328

発表(3)

1. 中村有佑、白井 剛、高橋良彰、濱田 洋、濱田吉則. 臍内切開による小児外科手術. 第116回日本外科学会定期学術集会、大阪、2016.4.14.
2. 中村有佑、白井 剛、服部健吾、濱田 洋、鈴木久美子、林 宏昭、佐藤正人、濱田吉則. 小児における手縫い吻合と器械吻合の比較検討合併症を中心に. 第53回日本小児外科学会学術集会、博多、2016.5.26
3. Yusuke Nakamura, Yoshinori Hamada, Takeshi Shirai, Yoshiaki Takahashi, Ryosuke Satake, Hiroshi Hamada, Hiroaki Hayashi, Kengo Hattori .POLYORCHIDISM: THREE CASE REPORTS AND REVIEW OF THE LITERATURE Pacific Association Of Pediatric Surgeons 49th Conference, Kauai, 2016.4.28

上山庸佑【関西医科大学付属病院 大学院生】

発表(1)

1. 上山庸佑、徳原克治、三木博和、奥村忠芳、浜田吉則、權雅 憲. 小腸虚血再灌流障害に対する機能性食品(active hexose correlated compound)の軽減効果. 日本外科代謝栄養学会第53回学術集会 東京大学安田講堂、2016.7.8

山木 壮【関西医科大学付属病院 助教】

発表(12)

1. 山木 壮、里井壯平、柳本泰明、山本智久、廣岡 智、小塚雅也、良田大典、松井陽一、權雅憲. 臍体尾部切除術における補強材付き自動縫合器による臍断端処理. 日本外科学会 大阪 2016.4.14-16
2. 山木 壮、里井壯平、小塚雅也、柳本泰明、山本智久、廣岡 智、良田大典、松井陽一、權 雅憲. Clinical role of staging laparoscopy and risk factors for peritoneal metastasis in patients with radiographically defined locally advanced pancreatic ductal adenocarcinoma. 日本肝胆膵外科学会 大阪 2016.6.2-4
3. 山木、壮、里井壯平、柳本泰明、山本智久、廣岡 智、小塚雅也、良田大典、井上健太郎、松井陽一、權 雅憲. 臍体尾部切除術における補強材付き自動縫合器の使用による合併症率の変化と入院コストの検討. 日本消化器外科学会 徳島 2016.7.14-16
4. 山木 壮 里井壯平 小塚雅也 柳本泰明 山本智久 廣岡 智 良田大典 松井陽一 權 雅憲. Identification of risk factors for peritoneal metastasis in patients with radiographically defined locally advanced pancreatic ductal adenocarcinoma. IAP&JPS (日本膵臓学会) 仙台 2016.8.4-7
5. 山木 壮 里井壯平 柳本泰明 山本智久 廣岡 智 小塚雅也 松井陽一 權 雅憲. 臍体尾部切除術を要した成人発症 Nesidioblastosis の1例. 上方内分分泌外科学会 大阪
6. 山木 壮 里井壯平 小塚雅也 柳本泰明 山本智久 廣岡 智 良田大典 松井陽一 權 雅憲. 画像上局所進行膵癌における潜在性腹膜転移の予測因子. 外科系連合学会 大阪 2016.6.15-17
7. 山木 壮 里井壯平 柳本泰明 山本智久 廣岡 智 小坂 久 小塚雅也 良田大典 松井陽一 權雅 憲. 膵頭十二指腸切除術後肝管空腸吻合部狭窄の検討. JDDW 神戸 2016.11.3-6
8. 山木 壮 里井壯平 柳本泰明 山本智久 廣岡 智 小塚雅也 松井陽一 權 雅憲. 術前診断しえなかった成人発症 Nesidioblastosis の1例. 胆膵病態生理研究会 大阪 2016.6.11
9. So Yamaki, Sohei Satoi, Hiroaki Yanagimoto, Tomohisa Yamamoto, Satoshi Hirooka, Masaya Kotsuka, Hironori Ryota, Yoichi Matsui, A-Hon Kwon. Clinical role of staging laparoscopy and risk factors for peritoneal metastasis in patients with radiographically defined locally advanced pancreatic ductal adenocarcinoma. IASGO Seoul 2016.9.8-10
10. 山木 壮 里井壯平 柳本泰明 山本智久 廣岡 智 小塚雅也 良田大典 松井陽一 權雅 憲. 臍体尾部切除術における臍断端処理方法による術後成績の比較検討. 膵切研究会 東京 2016.8.19-20
11. So Yamaki, Sohei Satoi, Hiroaki Yanagimoto, Tomohisa Yamamoto, Satoshi Hirooka, Masaya Kotsuka, Youichi Matsui¹, Masanori Kon. Risk factors for latent distant organ metastasis detected by staging laparoscopy in patients with radiologically defined locally advanced pancreatic ductal adenocarcinoma. 国際外科学会 京都 2016.10.23-26
12. 山木 壮 里井壯平 柳本泰明 小坂久 山本智久 廣岡 智 小塚雅也 良田大典 井上健太郎 松井陽一 權 雅. 臍体尾部切除術における臍断端処理方法の変遷による合併症率の変化. 日本臨床外科学会 東京 2016.11.24-26

尾崎 岳【関西医科大学付属病院 助教】

発表(4)

1. 尾崎 岳、道浦 拓、井上健太郎、福井淳一、向出裕美、徳原克治、海堀昌樹、里井壯平、濱田 円、權 雅憲. 当科における術前 DCF 療法の安全性と有効性の検討. 第70回日本食道学会学術集会、東京・ザプリンスパークタワー東京 2016.7.4-6
2. 尾崎 岳、道浦 拓、小林壽範、稲田 涼、三木博和、大石賢玄、向出裕美、繁光 薫、井上健太郎、濱田 円、權 雅憲. 胸腔鏡補助食道亜全摘術後に硬膜外血腫を生じた一例. 第29回近畿内視鏡外科研究会 京都・メルバルク京都、2016.9.10
3. 尾崎 岳、小林壽範、稲田 涼、三木博和、大石賢玄、向出裕美、道浦 拓、繁光 薫、井上健太郎、濱田 円、權 雅憲. T2N0 および T3N0 胃癌切除症例の予後についての検討. 第78回日本臨床外科学会総会東京・グランドプリンス新高輪 国際館パミール 2016.11.24,25,26
4. 尾崎岳、小林壽範、稲田涼、三木博和、大石賢玄、向出裕美、道浦拓、繁光薫、井上健太郎、濱田円、權雅憲. 腹腔鏡下胃切除における幽門下リンパ節郭清第29回日本内視鏡外科学会総会横浜・パシフィック横浜、2016.12.8-10

海堀昌樹【関西医科大学付属病院 准教授】

論文(11)

- Masaki Kaibori, Kosuke Matsui, Morihiko Ishizaki, Hiroya Iida, Masanori Kon. Intraoperative indocyanine green fluorescent imaging for prevention of bile leakage after hepatic resection. ICG Fluorescence Imaging and Navigation Surgery. Tokyo. Springer.2016; pp381-388.
- 海堀昌樹、吉内佐和子. II 疾患とリハビリテーション栄養. 5. 消化器疾患. A. 肝細胞癌術後、治療を支える疾患別リハビリテーション栄養 リハと栄養はベストカップル. 南江堂, 東京, 2016; 198-206
- 海堀昌樹. III. 脳神経外科周術期の薬物療法—理論と実際—3. 消化器疾患への対応. c. 周術期の肝機能障害. 8 脳神経外科医が知っておきたい薬物治療の考え方と実際. 脳神経外科診療プラクティス. 文光堂, 東京, 2016; 226-228
- Kaibori M, Nitta H, Hayashi M, Takemura S, Nagano H, Matsui K, Ikoma H, Nakai T, Yasunaga M, Kido M, Aoki T, Rikiyama T, Sano K, Kudo A, Katagiri S, Otsuka Y, Kuroki T, Nomi T, Yano K, Endo I, Ueno M, Kanazawa A, Terajima H, Ko S, Honda G, Seyama Y, Sunagawa H, Aibara T. Questionnaire survey on work motivations of gastrointestinal and hepatobiliary pancreatic surgeons enrolled in a Japanese national interdisciplinary program. J Hepatobiliary Pancreat Sci.2016 ; 23: 697-702
- Kaibori M, Sakai K, Ishizaki M, Matsushima H, De Velasco MA, Matsui K, Iida H, Kitade H, Kwon AH, Nagano H, Wada H, Haji S, Tsukamoto T, Kanazawa A, Takeda Y, Takemura S, Kubo S, Nishio K. Increased FGF19 copy number is frequently detected in hepatocellular carcinoma with a complete response after sorafenib treatment. Oncotarget. 2016 ; 7: 49091-49098
- Kaibori M, Matsui K, Ishizaki M, Iida H, Yoshii K, Asano H, Kon M. Effects of implementing an "enhanced recovery after surgery" program on patients undergoing resection of hepatocellular carcinoma. Surg Today.2017 ;47 : 42-51
- Kaibori M, Matsui K, Ishizaki M, Iida H, Okumura T, Sakaguchi T, Inoue K, Ikeura T, Asano H, Kon M. Intraoperative Detection of Superficial Liver Tumors by Fluorescence Imaging Using Indocyanine Green and 5-aminolevulinic Acid. Anticancer Res. 2016 ; 36 :1841-9
- Kaibori M, Matsui K, Ishizaki M, Iida H, Sakaguchi T, Tsuda T, Okumura T, Inoue K, Shimada S, Ohtsubo S, Kusano M, Ikehara Y, Ozeki E, Kitawaki T, Kon M. Evaluation of fluorescence imaging with indocyanine green in hepatocellular carcinoma. Cancer Imaging.2016 ; 6;16:6
- Kaibori M, Ishizaki M, Matsui K, Iida H, Inoue K, Nagashima F, Kon M. Geriatric assessment as a predictor of postoperative complications in elderly patients with hepatocellular carcinoma. Langenbecks Arch Surg.2016 ;401 :205-14
- 海堀昌樹、塚田雄亮、笹井愛子、辻本広行、山本浩充. PLGA ナノ粒子の生体吸収性 DDS シートへの応用. 粉碎. 2016; 59:111-116
- 海堀昌樹. 特別レポート ERAS の普及と報道 早期に退院できて痛くない医療に高まる国民の期待 PDN 通信 平成 28 年 7 月号(第 56 号)NPO 法人 PEG ドクターズネットワーク

発表(27)

- Masaki Kaibori. ERAS Program for Patients Undergoing Resection of Hepatocellular Carcinoma. 26th World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists. (Symposium) Seoul, Korea 2016.9.9
- Masaki Kaibori. ERAS after liver resection The44th Congress of the Korean Association of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery (Symposium) Seoul, Korea 2016.4.1
- Masaki Kaibori. Effect of introducing an enhanced recovery after surgery program for patients undergoing resection of hepatocellular carcinoma. 19th Congress of the KSSMN & 2016 International Symposium (Joint Symposium) Seoul, Korea.2016.3.12
- Masaki Kaibori, Kosuke Matsui, Morihiko Ishizaki, Hiroya Iida, Masanori Kon. Effect of Introducing an ERAS for Patients Undergoing Resection of HCC 25th Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver (Poster Session) Tokyo, Japan.2016.2.23
- Masaki Kaibori, Kosuke Matsui, Morihiko Ishizaki, Hiroya Iida, Masanori Kon. Intraoperative Detection of Superficial Liver Tumors by Fluorescence Imaging Using ICG and 5-ALA 25th Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver (Oral Sessions), Tokyo, Japan 2016.2.23
- Masaki Kaibori, Kosuke Matsui, Morihiko Ishizaki, Hiroya Iida, Masanori Kon. Effect of Intramuscular Adipose Tissue Content on Prognosis in Patients Undergoing HCC Resection 25th Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver (Poster Session) Tokyo, Japan.2016.2.22
- 海堀昌樹. ニードルレスコネクタを中心とした閉鎖式輸液回路におけるシリンジ挿入抵抗よりみたカテーテル関連血流感染への影響 / . - 第 29 回日本外科感染症学会総会(特別講演)東京.2016.12.1
- 海堀昌樹. 消化器外科領域癌に対する種々の工夫による外科的アプローチ 大学院リトリート《細胞の増殖と分化》(特別講演)大阪 2016.10.21
- 海堀昌樹. 肝臓外科術後の再発進行症例に対するソラフェニブ投与奏効症例の多施設共同検討 肝臓外科肝がん薬物療法の会(講演)大阪 2016.10.18
- 海堀昌樹. 肝臓外科領域における周術期早期回復プログラム～早期離床のための術後ペインフリーへの挑戦～ 第 11 回大阪 NST 研究会. 第 46 回大阪病院機能向上研究会 大阪 2016.10.1
- 海堀昌樹. 栄養補給ルートの選択と栄養管理プランニング—外科周術期における栄養管理 2016 年度認定臨床栄養医研修会 兵庫 2016.7.31
- 海堀昌樹. 肝胆膵外科領域における術後回復促進策の現状と問題点 日本外科代謝栄養学会第 53 回学術集会(特別講演)東京 2016.7.7
- 海堀昌樹. 肝臓外科領域における合併症抑制および予後改善に向けた取り組み 第三回湘南消化器セミナー(講演)神奈川 2016.5.26
- 海堀昌樹. 予後改善・合併症軽減へ向けた肝臓外科代謝栄養における種々の試み 第 4 回関西-DRAGON 勉強会(特別講演)大阪 2016.5.7
- 海堀昌樹、石崎守彦、松井康輔、飯田洋也、坂口達馬、松島英之、井上健太郎、林史和、水田敏彦、権雅憲. 術前骨格筋脂肪化の肝細胞癌術後生存へ及ぼす影響～筋肉量を増やすべきか、質の改善か?～ 第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会(特別講演)福岡 2016.2.26
- 海堀昌樹. 肝臓外科領域における予後改善に向けた種々の試み. 第 11 回大阪肝胆膵・移植外科研究会(特別講演)大阪 2016.1.23
- 海堀昌樹. 関西で行っている外科医育成の会の歩みと夢のある外科医キャリアパスについて 第 2 回 Japanese skill education for young gastroenterological Surgeons(特別講演)熱海 2016.9.2
- 海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、坂口達馬、松島英之、中竹利和、権雅憲、長島文夫. 高齢者総合機能評価を用いた高齢者肝臓外科治療指針の提案 第 19 回日本高齢消化器病学会総会(シンポジウム)東京 2016.7.23
- 海堀昌樹. 肝発癌予防のための BCAA 製剤治療戦略 日本外科代謝栄養学会第 53 回学術集会(シンポジウム)東京 2016.7.8
- 海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、松島英之、坂口達馬、福井淳一、井上健太郎、松井陽一、権雅憲. 消化器外科手術後の痛み評価と鎮痛対策 第 41 回日本外科系連合学会学術集会(シンポジウム)大阪 2016.6.16
- 海堀昌樹、権雅憲、山本雅一、山上裕機、宮崎勝. 日韓共同研究プロジェクトによる肝細胞癌に対する解剖学的および非解剖学的切除に関する比較検討 第 28 回日本肝胆膵外科学会・学術集会 大阪 2016.6.2
- 海堀昌樹、中居卓也、廣川文鋭. 切除不能同時性大腸癌肝転移症例に対する conversion therapy 多施設共同研究 第 20 回日本肝臓学会大会(パネルディスカッション)神戸 2016.11.5
- 海堀昌樹、飯田洋也、田中肖吾、和田浩志、廣川文鋭、江口英利、中居卓也、林道廣、久保正二. 肝炎ウイルス関連よりみた腫瘍形成型肝内胆管がん術後再発形態の検討. 第 52 回日本肝臓研究会(ワークショップ)東京 2016.7.1
- 海堀昌樹、石崎守彦、松井康輔. 肝臓外科でのソラフェニブを中心とした切除不能進行肝細胞癌に対する集学的治療戦略 / - 第 52 回日

本肝臓学会総会(ワークショップ)東京 2016.5.20

25. 海堀昌樹、松井康輔、権雅憲. 当科での肝切除術 navigation system の現況と開発 第 102 回日本消化器病学会総会(ワークショップ) 東京 2016.4.23
26. 海堀昌樹、坂井和子、石崎守彦、松井康輔、北出浩章、権雅憲、土師誠二、竹村茂一、塚本忠司、金沢景繁、武田裕、和田浩志、永野浩昭、久保正二、西尾和人. 肝臓外科術後再発進行症例に対するソラフェニブ投与奏効例のバイオマーカー-FGF19 検討 第 116 回日本外科学会定期学術集会(パネルディスカッション)大阪 2016.4.15
27. 海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、飯田洋也、坂口達馬、松島英之、井上健太郎、権雅憲. 肝臓切除手術における術後早期回復プログラム導入効果の検討 第 71 回日本消化器外科学会総会(ポスター) 徳島 2016.7.16

奥野雅史【吉田病院】

発表(1)

1. 奥野雅史、山尾順 当院における浅大腿動脈閉塞 TASC D 病変症例に対する腹臥位エコーガイド下逆行性膝窩動脈穿刺併用血管内治療症例の検討 日本脈管学会 奈良 2016.10.13

吉田 良【関西医科大学香里病院 講師】

発表(1)

1. 吉田良 岡崎智 吉田秀行 権雅憲. 終末期患者に対する人工肛門造設術の問題点と対応に関する検討. 第 21 回緩和医療学会学術大会 京都 2016.6.18

山本智久【関西医科大学付属病院 助教】

発表(16)

1. 山本智久、里井壯平、柳本泰明、廣岡 智、山木 壮、小塚雅也、中村文子、権 雅憲. 膵頭十二指腸切除術後瘻の予防策及び治療の現状. 第 52 回日本腹部救急医学会総会. 東京. 2016.3.3-4
2. 山本智久、里井壯平、柳本泰明、廣岡 智、山木 壮、小塚 雅也、道浦 拓、井上 健太郎、松井 陽一、権 雅憲. 膵頭十二指腸切除術後瘻低減をめざした術後管理の変遷と効果. 第 116 回日本外科学会定期学術集会. 大阪. 2016.4.14-4.16
3. Tomohisa Yamamoto, Sohei Satoi, Hiroaki Yanagimoto, Satoshi Hirooka, So Yamaki, Masaya Kotsuka, Taku Michiura, Kentaro Inoue, Yoichi Matsui, Kon Masanori. Clinical effect of pancreaticojejunostomy with a long-internal stent during pancreaticoduodenectomy in patients with a main pancreatic duct of small diameter. the 3rd Yeungnam-Kansai HBP Surgeons Joint Meeting 2016. Ulsan Korea. 2016.4.8-9
4. 山本智久、里井壯平、柳本泰明、山木 壮、小塚 久、廣岡 智、小塚雅也、松井陽一、権 雅憲. 膵頭十二指腸切除後 NAFLD 発症に対するパングレリパーゼ製剤の予防効果に対する検討. 第 33 回胆膵病態生理研究会. 大阪. 2016.6.11
5. 山本智久、里井壯平、柳本泰明、廣岡 智、山木 壮、小塚雅也、道浦 拓、井上健太郎、松井陽一、権 雅憲. 術前因子を用いた膵頭十二指腸切除術後合併症発生の予測. 第 41 回日本外科系連合学会学術集会. 大阪. 2016.6.15-6.17
6. 山本智久、里井壯平、柳本泰明、廣岡 智、山木 壮、小塚雅也、道浦 拓、井上健太郎、松井陽一、権 雅憲. Predictive factors of severe complications following pancreaticoduodenectomy in patients with periampullary disease. 第 28 回日本肝胆膵外科学会・学術集会. 大阪. 2016.6.2-4
7. 山本智久、里井壯平、柳本泰明、小塚 久、廣岡 智、山木 壮、小塚雅也、道浦 拓、井上健太郎、松井陽一、権 雅憲. 膵体尾部癌に対する No.10 リンパ節郭清の意義(脾温存手術は可能か). 第 54 回日本癌治療学会学術集会 横浜. 2016.10.20-22.
8. 山本智久、里井壯平、柳本泰明、廣岡 智、山木 壮、小塚雅也、道浦 拓、井上健太郎、松井陽一、権 雅憲. Scoring system を用いた膵頭十二指腸切除術後合併症の予測. 第 71 回日本消化器外科学会総会. 徳島. 2016.7.14-16.
9. 山本智久、里井壯平、柳本泰明、廣岡 智、山木 壮、小塚 久、松井陽一、権 雅憲. 術前に胆管炎を発症した患者に対する膵頭十二指腸切除術における CZOP の効果. 第 43 回日本膵切研究会. 東京. 2016.8.19-8.20
10. Tomohisa Yamamoto, Sohei Satoi, Hiroaki Yanagimoto, Satoshi Hirooka, So Yamaki, Hironori Ryota, Masaya Kotsuka, Taku Michiura, Kentaro Inoue, Yoichi Matsui, Masanori Kon. The 47th annual meeting of the Japan Pancreas Society, Sendai, Japan. 2016.8.4-8.7
11. 山本智久. 腹膜転移を有する切除不能膵癌に対する S-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法の治療効果. 第 19 回 消化器外科手術を考える若手懇談会. 大阪. 2016.2.6
12. 山本智久、里井壯平、柳本泰明、廣岡 智、山木 壮、小塚 久、小塚雅也、道浦 拓、井上健太郎、松井陽一、権 雅憲. 再発時に SIADH を呈した十二指腸乳頭部神経内分泌癌の 1 例. 第 52 回日本胆道学会学術集会 横浜. 2016.9.29-9.30
13. 山本智久、里井壯平、柳本泰明、廣岡 智、山木 壮、小塚雅也、小塚 久、道浦 拓、井上健太郎、松井陽一、権 雅憲. 腹膜転移を有する膵癌に対する S1+PTXiv/ip 療法の治療成績. 第 11 回膵癌術前治療研究会. 仙台. 2016.10.15
14. Tomohisa Yamamoto, Sohei Satoi, Hiroaki Yanagimoto, Satoshi Hirooka, So Yamaki, Masaya Kotsuka, Kentaro Inoue, Taku Michiura, Yoichi Matsui, Masanori Kon. Risk factors of complications following pancreaticoduodenectomy for periampullary disease. 40th World congress of the International college of Surgeons. Kyoto, 2016.10.23-26
15. 山本智久、里井壯平、柳本泰明、山木 壮、廣岡 智、小塚 久、小塚雅也、道浦 拓、井上健太郎、松井陽一、権 雅憲. 当科における膵頭十二指腸切除術後瘻低減への取り組み. 第 14 回日本消化器外科学会大会(第 24 回日本消化器関連学会週間 JDDW2016). 神戸. 2016.11.3-11.6
16. 山本智久、里井壯平、柳本泰明、山木 壮、小塚 久、廣岡 智、小塚雅也、道浦 拓、井上健太郎、松井陽一、権 雅憲. 術前胆管炎発症患者に対する膵頭十二指腸切除術における合併症対策. 第 78 回日本臨床外科学会総会. 東京. 2016.11.24-11.26

駒井宏好【関西医科大学総合医療センター 診療教授】

論文(3)

1. Komai H, Shindo S, Shigematsu H, Ogino H. Double tract vein graft of the lower limb: its efficacy as a conduit for tibial bypass. J Cardiovasc Surg (Torino). 2016;57:481-2.
2. 駒井 宏好, 深山 紀幸, 坂下 英樹, 山本 暢子, 進藤 俊哉, 荻野 均. 閉塞性動脈硬化症における血中カルニチン濃度の意義. 脈管学 2016;56:103-108
3. 駒井宏好. 下肢閉塞性動脈硬化症 疫学、無症候、間欠性跛行 「新・心臓血管外科テキスト」安達秀雄、小野稔、坂本喜三郎、志水秀行、宮田哲郎、編 2016 中外医学社 東京 658-61

発表(5)

1. 駒井宏好 シンポジウム3 透析合併重症虚血肢に対する distal bypass 術-開存率向上のための工夫- 下腿動脈バイパス術の吻合部位決定における血管超音波検査の重要性 第 46 回日本心臓血管外科学会 名古屋 2016.2.16
2. 駒井宏好、坂下英樹、深山紀幸、山本暢子 シンポジウム 16「糖尿病透析患者に特化した診療コンセプトの構築」糖尿病透析患者の足を

- 守り命を守る～血管外科医による閉塞性動脈硬化症へのアプローチ～ 第 61 回日本透析医学会 大阪 2016.6.11
3. 駒井宏好 日本心血管インターベンション治療学会・日本血管外科学会合同セッション 血管内治療 VS 外科的血行再建術 Beyond the Guideline TASC D 病変に対する血行再建術は外科的血行再建術が第一選択である 第 25 回日本心血管インターベンション治療学会 東京 2016.7.8
 4. Hiro Yoshi Komai Peripheral Artery Forum Lower leg distal bypass surgery in the endovascular era Taiwan Society for Vascular Surgeon 2016 annual meeting Taipei, Taiwan 2016.9.11
 5. 駒井宏好 教育講演「PAD 診療の基本」患者本位、結果重視の診療を 第 57 回日本脈管学会 教育講演 奈良 2016.10.14
- その他の講演(18)
1. 駒井宏好 日常診療に役立つ血管疾患診療のポイント 貝塚市医師会学術講演会 特別講演 貝塚 2016.1.21
 2. 駒井宏好「血管の病気 検査から診療へ」チーム医療による脈管診療 平成 27 年度大阪府放射線技師会・大阪府臨床検査技師会技師会合同フォーラム 大阪 2016.1.23
 3. 駒井宏好 下肢虚血に対する血管外科医の治療 第 44 回大阪形成外科医会 大阪 2016.2.13
 4. 駒井宏好 心臓外科医のための「明日から役立つ末梢血管外科診断・治療学」第 46 回日本心臓血管外科学会 ランチョンセミナー 名古屋 2016.2.16
 5. 駒井宏好 日常診療における脈管疾患の診かた 平成27年度大阪市東淀川区医師会と関西医科大学附属滝井病院との懇談会 特別講演 大阪 2016.3.5
 6. 駒井宏好 がんより怖い！血管病のはなし 大正区民のための健活セミナー 市民公開講座 大阪 2016.3.20
 7. 駒井宏好 静脈疾患診療の最新情報(レーザ治療や NOAC)第8回リンパ浮腫療法士教育セミナー 講義 枚方 2016.3.27
 8. 駒井宏好 足病変に対する我々の取り組み「滝井プロジェクト」第 5 回重症虚血肢救済に対する集学的シンポジウム OASIS 特別講演 大阪 2016.5.14
 9. 駒井宏好 大動脈疾患の診断と治療 2016 年度第1回血管無侵襲診断セミナー・第30回 CVT 認定講習会 東京 2016.5.28
 10. 駒井宏好 コメディカルにも役立つ閉塞性動脈硬化症の知識 第 15 回神戸血管エコーセミナー ランチョンセミナー 神戸 2016.7.16
 11. 駒井宏好 閉塞性動脈硬化症の診断と治療 第 6 回泉州まんだらげ会 学術講演会 特別講演 泉佐野 2016.7.16
 12. 駒井宏好 血管外科最新治療 -早期発見から保存的、外科的治療まで- 第 43 回奈良血管疾患懇話会 橿原 2016.8.27
 13. 駒井宏好 下肢閉塞性動脈硬化症の治療は最終結果がすべてである 第 15 回和歌山循環器 Debate Conference 和歌山 2016.9.8
 14. 駒井宏好「外科的血行再建への情熱」バイパス開存ではなく下肢救済をめざした血行再建 第 2 回日本下肢救済・足病学会 関西地方会 ティータイムセミナー 大阪 2016.10.1
 15. 駒井宏好 静脈疾患の診療 第 17 回診断技術向上セミナー(2016 年度第 3 回血管無侵襲診断セミナー) 奈良 2016.10.15
 16. 駒井宏好 PAD からみる Polyvascular disease ATIS SUMMIT in NAGOYA【血管領域】名古屋 2016.10.20
 17. 駒井宏好 閉塞性動脈硬化症に対する血管外科医の使命 第24回四国 MMC 研究会 特別講演4 徳島 2016.10.29
 18. 駒井宏好 足の症状で整形外科を受診する血管病患者～閉塞性動脈硬化症の適切な見分け方～ 平成28年度 旭区整形外科医会 特別講演 大阪 2016.11.19
- 主催イベント(3)
1. 駒井宏好 第二回関西血管外科基本手技ビデオセミナー 2016.1. 枚方
 2. 駒井宏好 第二回北河内連携フットスキャン研究会 2016. 大阪
 3. 駒井宏好 TAKE! ABI 2016 in KANSAI (市民啓発イベント) 2016.9. 枚方

松井康輔【関西医科大学付属病院 講師】

論文(3)

1. 松井康輔、海堀昌樹。【周囲神経・血管・リンパ節までまるわかり!外科ナース・研修医のための消化器の手術&臓器のはたらき】(5 章)肝臓 だから肝臓手術後はどう注意する? 消化器外科 NURSING 2016.2016 秋季増刊 : 140-143
2. 松井康輔、海堀昌樹。【周囲神経・血管・リンパ節までまるわかり!外科ナース・研修医のための消化器の手術&臓器のはたらき】(5 章)肝臓 肝臓の働きと解剖 消化器外科 NURSING 2016.2016 秋季増刊 : 132-139
3. 松井康輔、海堀昌樹、石崎守彦、権 雅憲。肝切除 navigation system を用いた手術。肝胆膵。2016, 73(5): 761-768

発表(2)

1. 松井康輔、海堀昌樹、石崎守彦、飯田洋也、権雅 憲。肝切除 3D ナビゲーションシステムの開発。第 132 回関西医科大学学内学術集談会(シンポジウム)大阪 2016.3.18
2. 松井康輔、海堀昌樹、石崎守彦、野見武男、廣川文鋭、林道廣、上野昌樹、田中肖吾、竹村茂一、久保正二。単発肝細胞癌術後再発に対する腹腔鏡下再肝切除術の安全性および有用性の検討 第 71 回日本消化器外科学会総会(ポスター)徳島 2016.7.15

中谷和義【関西医科大学総合医療センター 病院助教】

発表(5)

1. 中谷和義、徳原克治、上山庸佑、吉岡和彦、権 雅憲。化膿性血栓を伴った敗血症性静脈炎と腸間膜膿瘍により門脈ガス血症を発症したクローン病の 1 例。第 78 回日本臨床外科学会総会、東京、2016.11.24
2. 中谷和義、徳原克治、上山庸佑、吉岡和彦、権 雅憲。腹壁膿瘍を合併した虫垂仮性憩室炎に対して腹腔鏡下回盲部切除術を施行した 1 例。第 29 回日本内視鏡外科学会総会、横浜、2016.12.8
3. 中谷和義、徳原克治、上山庸佑、吉岡和彦、権 雅憲。Panitumumab 単独で 20 か月病勢制御が得られている上行結腸癌腹膜播種の 1 例。第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会、三重、2016.11.18
4. 中谷和義、徳原克治、上山庸佑、吉岡和彦、権 雅憲。腹壁膿瘍を形成した穿孔性虫垂仮性憩室炎に対して腹腔鏡補助下回盲部切除術を施行した 1 例。第 199 回近畿外科学会、大阪、2016.5.14
5. 中谷和義、徳原克治、上山庸佑、吉岡和彦、権 雅憲。Panitumumab 単独で 16 か月病勢制御が得られている上行結腸癌腹膜播種の 1 例。第 54 回日本癌治療学会学術集会、横浜、2016.10.22

三木博和【関西医科大学付属病院 助教】

論文(1)

1. Hirokazu Miki, Katsuji Tokuhara, Masaharu Oishi, Richi Nakatake, Yoshito Tanaka, Masaki Kaibori, Mikio Nishizawa, Tadayoshi Okumura and Masanori Kon. Japanese Kampo saireito has a liver-protective effect through the inhibition of inducible nitric oxide synthase induction in

primary cultured rat hepatocytes, Journal of Parenteral and Enteral Nutrition, September 2016; 40; 1033-1041

発表(2)

1. 三木博和, 小林壽範, 稲田涼, 大石賢玄, 尾崎岳, 向出裕美, 松本朝子, 道浦拓, 井上健太郎, 濱田円. 上部消化管と瘻孔形成した局所進行大腸癌を根治的に切除した2症例, 第70回手術手技研究会, 東京, 2016.5.21
2. 三木博和, 井上健太郎, 尾崎岳, 向出裕美, 道浦拓, 小林壽範, 稲田涼, 大石賢玄, 繁光 薫, 濱田 円, 権 雅憲. 腹腔鏡下に切除した胃原発 bronchogenic cyst の1例. 第46回胃外科・術後障害研究会, 米子市, 2016.10.27-28

矢内洋次【関西医科大学付属病院 助教】

論文(2)

1. Hirotsugu Yanai, Naho Atsumi, Toshihiro Tanaka, Naohiro Nakamura, Yoshihiro Komai, Taichi Omachi, Kiyomichi Tanaka, Kazuhiko Ishigaki, Kazuho Saiga, Haruyuki Ohsugi, Yoko Tokuyama, Yuki Imahashi, Shuichi Ohe, Hiroko Hisha, Naoko Yoshida, Keiki Kumano, Masanori Kon and Hiroo Ueno, Intestinal cancer stem cells marked by Bmi1 or Lgr5 expression contribute to tumor propagation via clonal expansion, Scientific Reports, in press
2. 矢内洋次, 遠藤香代子, 松本真由美, 権 雅憲, 杉江知治, 乳がん術前・術後補助化学療法[FEC(100)療法, TC 療法]に対する Pegfilgrastim の使用経験, 癌と化学療法, 2016;43: 1087-1090

発表(2)

1. 矢内洋次・遠藤香代子・松本真由美・杉江知治, 当院における乳癌術前・術後補助化学療法(FEC/TC 療法)に対する pegfilgrastim の治療経験, 癌免疫外科研究会, 川越プリンスホテル, 2016.5.12-13
2. 矢内洋次・遠藤香代子・松本真由美・杉江知治, 当院における HER2 陽性進行・再発乳癌に対するベルツズマブ・トラストズマブエムタンシンの治療経験, 日本乳癌学会学術総会, 2016.6.16-18

山本大悟【関西医科大学総合医療センター 准教授】

論文(5)

1. Daigo Yamamoto, Yu Tsubota, Toshio Utsunomiya, Noriko Sueoka, Aiko Ueda, and Masanori Kon Osteonecrosis of the jaw due to use of everolimus. Molecular and clinical oncology 2016
2. Yamamoto D Efficacy of hyperthermia in combination with radiation therapy for breast cancer. 201-207, 2016
3. Yamamoto D Efficacy of hyperthermia in combination with chemotherapy for breast cancer. 249-255, 2016
4. 山本大悟 ラパチニブとレトゾール併用によって間質性肺炎を起こした1例 癌と化学療法 2016年11月
5. 山本大悟 新古聖子 菅俊光 坪田優 末岡憲子 吉川勝広 権 雅憲. 乳癌術後リハビリテーションの当院での取り組み. 癌と化学療法 2016年11月

発表(2)

1. 山本大悟 坪田優 田中義人 当院の乳腺部分切除に対する即時乳房再建(Thoracodorsal Artery Perforator flap (TAP flap))の工夫 臨床外科学会 東京 2016.11.25
2. 山本大悟 乳房の加齢性変化 加齢画像学会 大阪 2016.10.8

山尾 順【吉田病院】

発表(6)

1. 山尾順, 奥野雅史, 吉田和正, 下肢静脈瘤治療における下腿部への血管内焼灼術の安全性の検討, 第44回日本血管外科学会学術総会, 東京, 2016.5.25-27
2. 山尾順, 奥野雅史, 吉田病院におけるPAD以外の診療, 下肢動脈疾患の会 ~ Save the legs! ~, 大阪, 2016.6.11
3. 山尾順, 奥野雅史, 吉田和正, 駒井宏好, 下肢静脈瘤における下腿へのラジオ波焼灼術による神経障害の検討, 第36回日本静脈学会, 青森, 2016.6.23~24
4. 山尾順, 奥野雅史, 治療方針決定に難渋した血管疾患2症例の検討, 第137回大阪血管外科同好会, 大阪, 2016.8.6
5. 山尾順, 奥野雅史, 当院におけるゴールデンタイムを過ぎた急性動脈閉塞の3症例の治療経過, 第57回日本脈管学会総会, 奈良, 2016.10.13~15
6. 山尾順, 奥野雅史, 駒井宏好, Endovascular embolization of iatrogenic superior mesenteric arteriovenous fistula, ASIAN SOCIETY FOR VASCULAR SURGERY 2016, Singapore, 2016.10.20~23

山本暢子【関西医科大学総合医療センター 病院助教】

発表(6)

1. 山本 暢子, 深山 紀幸, 坂下 英樹, 駒井 宏好. CLI に対し複数箇所 inframalleolar bypass を行った2例 Peripheral Artery Surgical Meeting 2016 名古屋国際会議場 2016.2.15
2. 山本 暢子, 深山 紀幸, 坂下 英樹, 駒井 宏好. Perfusion index を用いた簡易の下肢虚血評価の可能性の検討 第44回日本血管外科学会学術総会 2016.5.25
3. 山本 暢子, 深山 紀幸, 坂下 英樹, 米虫 敦, 駒井 宏好. 足背動静脈奇形に対しポリドカノールを注入し治療した1例 第36回日本静脈学会総会 ホテルナクアシティ弘前 2016.6.23
4. Nobuko Yamamoto, N Miyama, H Sakashita, H Komai. Inframalleolar dual bypass for critical limb ischemia 第9回日独血管外科学会 グランドプリンスホテル広島 2016.8.19
5. 山本 暢子, 深山 紀幸, 坂下 英樹, 駒井 宏好. 末梢閉塞性動脈疾患・潜在的重症虚血肢診断における Perfusion Index の有用性. 第57回日本脈管学会総会 ホテル日航奈良 2016.10.13
6. 山本 暢子, 深山 紀幸, 坂下 英樹, 駒井 宏好. 下腿切断後の義足装着部位を考慮したバイパスの一例. 第3回関西血管外科倶楽部 ホテルグランヴィア大阪 2016.10.8

小林壽範【関西医科大学付属病院 病院助教】

発表(5)

1. 小林壽範, 稲田 涼, 大石賢玄, 松本朝子, 繁光 薫, 濱田 円. 当院での大腸癌に対する Diverting Stoma の現状. 関西ストーマ研究会, 奈良, 2016.6.25
2. 小林壽範, 稲田 涼, 大石賢玄, 松本朝子, 繁光 薫, 権 雅憲, 濱田 円. 進行下部直腸癌に対する前立腺合併切除膀胱尿道新吻合の

2例. 第 71 回日本消化器外科学会総会 徳島,2016.7.14-15

3. 小林壽範, 稲田 涼, 大石賢玄, 松本朝子, 繁光 薫, 権 雅憲, 濱田 円. 直腸腫瘍に対する腹腔鏡下括約筋間直腸切除術(LAP ISR)の検討. 第 29 回近畿内視鏡外科研究会 京都, 2016.9.10
4. 小林壽範, 稲田 涼, 大石賢玄, 松本朝子, 繁光 薫, 権 雅憲, 濱田 円. 当院での Diverting Stoma の現状と取り組み. 第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会 三重, 2016.11.18
5. 小林壽範, 稲田 涼, 大石賢玄, 松本朝子, 繁光 薫, 権 雅憲, 濱田 円. Diverting Ileostomy versus Diverting Colostomy for the Sphincter. Preserving Surgery of the Rectal Tumor European Colorectal Congress 2016 Abstract Submission in St. Gallen, Switzerland. 29 Nov- 2 Dec 2016

里井壯平【関西医科大学付属病院 准教授】

論文(10)

1. Satoi S, Fujii T, Yanagimoto H, Motoi F, Kurata M, Takahara N, Yamada S, Yamamoto T, Mizuma M, Honda G, Isayama H, Unno M, Kodera Y, Ishigami H, Kon M. Multicenter Phase II Study of Intravenous and Intraperitoneal Paclitaxel With S-1 for Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Patients With Peritoneal Metastasis. *Ann Surg*. 2016 in press.
2. Satoi S, Yanagimoto H, Yamamoto T, Ohe C, Miyasaka C, Uemura Y, Hirooka S, Yamaki S, Ryota H, Michiura T, Inoue K, Matsui Y, Tanigawa N, Kon M. Clinical outcomes of pancreatic ductal adenocarcinoma resection following neoadjuvant chemoradiation therapy vs. chemotherapy. *Surg Today*. 2017;47:84-91.
3. Satoi S, Yanagimoto H, Yamamoto T, Toyokawa H, Hirooka S, Yamaki S, Opendro SS, Inoue K, Michiura T, Ryota H, Matsui Y, Kon M. A clinical role of staging laparoscopy in patients with radiographically defined locally advanced pancreatic ductal adenocarcinoma. *World J Surg Oncol*. 2016;14:14.
4. Satoi S, Sho M, Yanagimoto H, Yamamoto T, Akahori T, Kinoshita S, Nagai M, Hirooka S, Yamaki S, Nishiwada S, Ryota H, Ikeda N, Nakajima Y, Kon M. Do pancrelipase delayed-release capsules have a protective role against nonalcoholic fatty liver disease after pancreatoduodenectomy in patients with pancreatic cancer? A randomized controlled trial. *J Hepatobiliary Pancreat Sci*. 2016;23:167-73.
5. Satoi S, Murakami Y, Motoi F, Sho M, Matsumoto I, Uemura K, Kawai M, Kurata M, Yanagimoto H, Yamamoto T, Mizuma M, Unno M, Kinoshita S, Akahori T, Shinzaki M, Fukumoto T, Hashimoto Y, Hirono S, Yamaue H, Honda G, Kwon M. Reappraisal of Total Pancreatectomy in 45 Patients With Pancreatic Ductal Adenocarcinoma in the Modern Era Using Matched-Pairs Analysis: Multicenter Study Group of Pancreatobiliary Surgery in Japan. *Pancreas*. 2016;45:1003-9.
6. 里井 壯平, 柳本 泰明, 山本 智久, 廣岡 智, 山木 壮, 小塚 雅也, 良田 大典, 井上 健太郎, 道浦 拓, 松井 陽一, 権 雅憲 膵体尾部切除術における膵断端処理 膵尾側断端膵管胃粘膜吻合法の実際と治療成績 胆と膵 2016;37:265-269.
7. 里井 壯平, 柳本 泰明, 山本 智久, 廣岡 智, 山木 壮, 小塚 雅也, 良田 大典, 井上 健太郎, 道浦 拓, 松井 陽一, 権 雅憲 腹膜転移を有する膵癌に対する化学療法 消化器の臨床 2016;19:62-66.
8. 里井 壯平, 柳本 泰明, 山本 智久, 廣岡 智, 山木 壮, 小塚 雅也, 良田 大典, 井上 健太郎, 道浦 拓, 松井 陽一, 権 雅憲 潜在性腹膜転移膵癌治療における conversion surgery の役割 臨床外科 2016: 71:206-210.
9. 里井壯平, 柳本泰明, 山本智久, 山木 壮, 権 雅憲 第 4 章 管理・治療 膵がんの外科治療 最新醫學 別冊 診断と治療の ABC115 膵炎・膵がん 最新医学社 2016; 115: 190-196, 2016
10. 里井壯平 Ⅲ. 基本手術 7.膵体尾部切除術(腹腔動脈合併切除を含む) 膵癌の手術適応 肝胆膵高難度外科手術 第 2 版 223-224 日本肝胆膵外科学会

発表(10)

1. 里井壯平, 柳本泰明, 山本智久, 廣岡 智, 小塚雅也, 良田大典, 道浦 拓, 井上健太郎, 松井陽一, 権 雅憲 大学病院胆膵チームにおける教育プログラムの検証 第 71 回日本消化器外科学会 徳島 2016.7.14-16
2. 里井壯平, 柳本泰明, 山本智久, 廣岡 智, 山木 壮, 小塚雅也, 良田大典, 道浦 拓, 井上健太郎, 松井陽一, 権 雅憲 膵癌腹膜転移の新規治療戦略 第 41 回日本外科系連合学会 大阪 2016.6.15-17
3. Satoi S, Yanagimoto H, Yamamoto T, Hirooka S, Yamaki S, Kotsuka M, Ryota H, Matsui Y, Kwon AH A clinical role of conversion surgery in patients with initially unresectable pancreatic ductal adenocarcinoma 第 47 回日本膵臓学会・第 20 回国際膵臓学会・第 6 回アジアオセアニア膵臓学会 仙台 2016.8.4-7
4. Satoi S, Murakami Y, Motoi F, Sho M, Matsumoto I, Uemura K, Kawai M, Kurata M, Yanagimoto H, Yamamoto T, Mizuma M Reappraisal of total pancreatectomy in 45 patients with pancreatic ductal adenocarcinoma in the modern era using matched-pairs analysis 第 47 回日本膵臓学会・第 20 回国際膵臓学会・第 6 回アジアオセアニア膵臓学会 仙台 2016.8.4-7
5. 里井壯平, 柳本泰明, 廣岡 智, 山木 壮, 小塚雅也, 良田大典, 道浦 拓, 井上健太郎, 松井陽一, 権 雅憲 膵癌腹膜転移に対する新規治療戦略としての S-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法 第 116 回日本外科学会 大阪 2016.4.14-16
6. 里井壯平 転移を有する膵癌に対する S-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内投与併用療法の第Ⅲ相多施設共同臨床試験 第 11 回膵癌術前治療研究会 仙台 2016.10.15
7. 里井壯平, 村上義昭, 元井冬彦, 庄 雅之, 松本逸平, 上村健一郎, 川井 学, 倉田昌直, 柳本泰明, 山本智久, 水間正道, 赤堀宇広, 木下正一, 新関 亮, 本田五郎, 海野倫明, 山上裕機, 権 雅憲 膵癌に対する膵全摘術の再評価-matched-pairs analysis による多施設共同研究 第 14 回日本消化器外科学会 神戸 2016.11.3-6
8. Satoi S, Yanagimoto H, Yamamoto T, Kosaka H, Hirooka S, Yamaki S, Kotsuka M, Michiura T, Inoue K, Matsui Y, Kwon AH A New Therapeutic Strategy For Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Patients With Peritoneal Metastasis. 40th World Congress of the International College of Surgeons Kyoto 2016.10.23-26
9. 里井壯平, 藤井 努, 柳本泰明, 山田 豪, 山本智久, 高見秀樹, 小坂 久, 廣岡 智, 山木 壮, 小寺泰弘, 権 雅憲 Borderline Resectable 膵癌に対する治療成績と展望 第 78 回日本臨床外科学会 2016.11.24-26
10. 里井壯平 膵頭十二指腸切除術における周術期管理標準化の臨床的影響-日本膵切研究会アンケート調査結果報告- 日本クリニカルパス学会 金沢 2016.11.25-26

講演(8)

1. 里井壯平 ランチョンセミナー1 化学療法に著効した膵癌をどうする? 第 43 回日本膵切研究会 東京 2016.8.19-20
2. 里井壯平 ランチョンセミナー 膵癌長期成績改善のための集学的治療戦略 第 11 回膵癌術前治療研究会 仙台 2016.10.15
3. 里井壯平 消化器がんの治療(緩和ケアを含めて) 栃木県北がん治療講演会 栃木 2016.10.17
4. 里井壯平 New strategy for pancreatic ductal adenocarcinoma with peritoneal metastasis The 44th Congress of the Korean Association of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery Seoul 2016.4.1-2
5. 里井壯平 膵癌の集学的治療は予後を改善するか? 第 21 回栃木県癌臨床フォーラム講演会 栃木 2016.11.10
6. 里井壯平 切除不能膵癌を克服するための諸条件とその対策 さいたま肝胆膵フォーラム 大宮 2016.11.11
7. 里井壯平 膵癌の集学的治療は予後を改善するか? THE 7TH BILIARY TRACT & PANCREATIC CANCER CONFERENCE 岡山 2016.12.17

8. Sohei Satoi, Hiroaki Yanagimoto, Tomohisa Yamamoto, Hisashi Kosaka, Satoshi Hirooka, So Yamaki, Masaya Kotsuka, Hironori Ryota, Yoichi Matsui, Masanori Kon. Clinical Impact of the Standardized Peri-operative Management on Post-operative Morbidity After Pancreaticoduodenectomy: A Survey From Japan Pancreas Club. International association of surgeons, gastroenterologists and oncologists. Seoul 2016.9-10

徳原克治【関西医科大学総合医療センター 講師】

論文(2)

1. Katsuji Tokuhara, Yosuke Ueyama, Kazuyoshi Nakatani, Kazuhiko Yoshioka, Masanori Kon. Outcomes of neoadjuvant chemoradiotherapy in Japanese locally advanced rectal carcinoma patients. World J Surg Oncol. 2016; 30:14:136.
2. Katsuji Tokuhara, Kazuyoshi Nakatani, Yosuke Ueyama, Kazuhiko Yoshioka, Masanori Kon. Short- and long-term outcomes of laparoscopic surgery for colorectal cancer in the elderly: A prospective cohort study. Int J Surg. 2016; 27 :66-71.

発表(6)

1. 徳原克治、中谷和義、上山庸佑、吉岡和彦、権 雅憲. 局所進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清術 第 116 回日本外科学会定期学術集会、大阪、2016.4.15
2. 徳原克治、中谷和義、上山庸佑、吉岡和彦、権 雅憲. 下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清術の手術と術後短期成績 第 71 回日本消化器外科学会総会、徳島、2016.7.14
3. 徳原克治、中谷和義、上山庸佑、吉岡和彦、権 雅憲. 下部進行直腸癌に対する術前化学療法の短期成績 第 54 回日本癌治療学会学術集会、横浜、2016.10.20
4. 徳原克治、中谷和義、上山庸佑、吉岡和彦、権 雅憲. 下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清術 第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会、三重、2016.11.18
5. 徳原克治、中谷和義、上山庸佑、吉岡和彦、権 雅憲. 下部進行直腸癌に対する術前化学療法の短期成績 第 78 回日本臨床外科学会総会、東京、2016.11.24
6. 徳原克治、中谷和義、上山庸佑、吉岡和彦、権 雅憲. 局所進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清術 第 29 回日本内視鏡外科学会総会、横浜、2016.12.9

ランチョンセミナー(2)

1. 徳原克治. 進行大腸癌に対する Multidisciplinary Treatment～腹腔鏡手術から化学療法まで～第 28 回肝胆膵外科学会ランチョンセミナー、大阪、2016/06/03
2. 徳原克治. 第 78 回日本臨床外科学会総会、ジョンソン・エンド・ジョンソンブースにてブースセミナー. 東京、2016/11/25

講演(12)

1. 徳原克治. 進行大腸癌に対する治療戦略. 守口市医師会学術講演会、守口、2016/01/22
2. 徳原克治. 地域医療連携の真髄とは？～大学病院の立場から～. 医療・福祉・保険経営研究会、大阪、2016/02/27
3. 徳原克治. 腹腔鏡補助下直腸がん手術～血管処理から骨盤入口部まで～. Laparoscopic surgery web conference @KMU&Fuchu、大阪、2016/03/02
4. 徳原克治. 腹腔鏡下直腸低位前方切除術. 第6回南大阪大腸鏡視下手術懇話会、大阪ア、2016/03/12
5. 徳原克治. 腹腔鏡下手術を極める. 第2回大阪 LAC 次世代の会、ホテルグランビア大阪、2016/05/20
6. 徳原克治. 腹腔鏡補助下直腸低位前方切除術. 2nd LAP Colorectal Advanced Seminar 大阪、2016/06/11
7. 徳原克治. 直腸癌に対する Multidisciplinary Treatment の変遷. ～さらなる予後延長を目指して～. Lync セミナー in 関西、大阪、2016/06/22
8. 徳原克治. 直腸癌に対する Multidisciplinary Treatment の変遷. ～さらなる予後延長を目指して～. 鹿児島外科手術フォーラム、鹿児島、2016/07/08
9. 徳原克治. 大腸癌に対する集学的治療. 第3回 LAC フロンティア研究会、大阪、2016/08/06
10. 徳原克治. 直腸癌に対する Multidisciplinary Treatment の変遷. ～さらなる予後延長を目指して～. Lync セミナー in 関西、大阪、2016/11/02
11. 徳原克治. 腹腔鏡補助下直腸前方切除術. 第3回大阪 LAC 次世代の会、大阪、2016/05/20
12. 徳原克治. 大腸がんに対する Multidisciplinary Treatment～がんは大砲をぶっ放せ！！～. EXPERT LECTURE 西陣病院、京都、2016/12/02

深山紀幸【関西医科大学総合医療センター 助教】

発表(4)

1. 深山紀幸、駒井宏好、坂下英樹、山本暢子. Giacomini vein を用いた遠位バイパスの一例. 日本血管外科学会近畿地方会、京都、2016.3
2. 深山紀幸、駒井宏好、坂下英樹、山本暢子. Skin perfusion pressure and prognosis of the contralateral limb in CLI patients. 第 44 回日本血管外科学会総会(シンポジウム)、東京、2016.5
3. 深山紀幸、駒井宏好、坂下英樹、山本暢子. 小伏在静脈と Giacomini vein を 1 本のグラフトとして使用した遠位バイパス. 第 8 回日本下肢救済・足病学術集会、東京、2016.5
4. 深山紀幸、駒井宏好、坂下英樹、山本暢子. EVAR 後 Type II endoleak に対する Open conversion(反省症例) 第 11 回 Japan Endovascular Symposium、東京、2016.8

講演(2)

1. 深山紀幸. 腹部大動脈瘤の早期診断・治療法について 血管エコーセミナー 大阪、2016.6
2. 深山紀幸. 末梢動脈疾患と脂質異常 一重症虚血患者に特徴的な脂質関連物質の解析— Scramble Crossing Forum October 11, 2016. 大阪、2016.11

柳田英佐【関西医科大学総合医療センター 診療講師】

発表(2)

1. 柳田英佐、北出浩章、肱川 健、山田正法、中谷和義、徳原克治、中井宏治、吉岡和彦、権 雅憲、中森 靖. 化学療法が著効し、十二指腸穿通・出血を来した切除不能進行降頭部癌の 1 例. 第 19 回消化器外科手術を考える若手懇談会 2016.2.6 大阪
2. 柳田英佐、北出浩章、肱川健、中谷和義、山田正法、徳原克治、中井宏治、吉岡和彦、権 雅憲. 化学療法が著効し、十二指腸穿通・出血を来した切除不能進行降頭部癌の 1 例. 第 78 回日本臨床外科学会総会 2016.11.25 東京

山道啓吾【泉尾病院】

発表(11)

1. 山道啓吾、坂口達馬、菱川秀彦、植田愛子、松浦節、田中義人. 細径単孔式鼠径ヘルニア修復術(Needle TANKO-TAPP)の工夫 — 腹膜閉鎖手技を中心に— 第14回Needlescopic Surgery Meeting 推薦ビデオ 宇都宮 2016/02/13
2. 山道啓吾、橋本祐希、菱川秀彦、田中宏典、松浦節、田中義人. 当院における単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術 212例の経験 5th Reduced Port Surgery Forum(第10回単孔式内視鏡手術研究会) パネルディスカッション 2016/08/05-06(2016/08/06)
3. K. Yamamichi, Y. Hashimoto, T. Matsuura and Y. Tanaka Our Devices of Single-Incision Laparoscopic Trans-Abdominal Pre-Peritoneal Hernia Repair (TANKO-TAPP) HERNIA WEEK 2016, symposium The 14th Annual Congress of JHS 2016/10/27-29 (2016/10/29)
4. 山道啓吾、坂口達馬、菱川秀彦、植田愛子、松浦節、田中義人. 若年成人に対する細径単孔式腹腔鏡下腹腔内ヘルニア閉鎖術(N-SILIAC) 第14回Needlescopic Surgery Meeting 推薦ビデオ 宇都宮 2016.2.13
5. 山道啓吾、木田幸知、柴田香奈、唐川正洋、櫻原秀一、藪野啓子、筋原章博. 地域の基幹病院としての健康啓蒙活動の取り組み— 大阪市大正区健活セミナー開催— 第68回済生会学会 口演 大阪 2016.2.28
6. 山道啓吾、田中義人、坂口達馬、菱川秀彦、植田愛子、松浦節、齊藤卓也. 下部胆管癌術後肝門部再発に対する化学放射線療法の経験 第28回日本肝胆膵外科学会・学術集会 示説(要望演題) 大阪 2016.6.2
7. 山道啓吾、松浦節、齊藤卓也、坂口達馬、植田愛子、田中義人、吉井將哲、松本隆之. 胃穹隆部 GIST に対する TANKO-LECS(Laparoscopy and Endoscopy cooperative surgery) の経験 第71回日本消化器外科学会総会 示説 徳島 2016.7.14
8. 山道啓吾、橋本祐希、菱川秀彦、田中宏典、松浦節、田中義人. 腹腔内発育型胃 GIST に対する単孔式腹腔鏡・内視鏡合同手術(TANKO-LECS)の経験 5th Reduced Port Surgery Forum(第10回単孔式内視鏡手術研究会) 口演 大阪 2016.8.6
9. 山道啓吾、橋本祐希、菱川秀彦、田中宏典、松浦節、田中義人. 若年成人鼠径ヘルニアに対する単孔式腹腔鏡下高位結紮術の試み 第78回日本臨床外科学会総会 口演(主題関連) 東京 2016.11.26
10. 山道啓吾、橋本祐希、菱川秀彦、田中宏典、松浦節、田中義人. 単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の現状と展望 — 当院における 212例の経験から— 第29回日本内視鏡外科学会総会 口演(要望演題) 横浜 2016.12.9
11. 山道啓吾、橋本祐希、菱川秀彦、田中宏典、松浦節、田中義人. 単孔式腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TANKO-TAPP)の有用性 第29回日本内視鏡外科学会総会 口演 横浜 2016.12.9

講演(4)

1. 山道啓吾. 大腸がんの外科治療と抗がん剤治療 平成27年度 第10回大正区民のための健活セミナー 大阪 2016.1.15
2. 山道啓吾. 進行大腸がんに対する治療「大腸癌の抗がん剤治療」済生会泉尾病院キャンサーボード 大阪 2016.4.14
3. 山道啓吾、植田愛子. 乳がんってどんな病気? 平成28年度 第1回大正区民のための健活セミナー 大阪 2016.5.20
4. 山道啓吾. 食道内圧検査 武田薬品社外講師講演会 大阪 2016.11.29

良田大典【関西医科大学付属病院 大学院生】

論文(2)

1. 良田大典、大石賢玄、坂口達馬、徳原克治、濱田 円、権 雅憲. 成人に発症した仙尾部成熟奇形腫の一例. 臨床外科学会雑誌、2016; 77: 243-248
2. 良田大典、松島英之、中村侑佑、佐藤元彦、小松優治、権 雅憲. 皮下埋没型中心静脈カテーテル留置術のアプローチ方法に関する検討. 臨床外科学会雑誌、臨床外科学会雑誌、2016; 77: 16-20

岡崎 智【関西医科大学香里病院 助教】

発表(1)

1. 岡崎 智、吉田 良、金成泰、神原達也、吉田秀行、兼松清果、権 雅憲. 胸水や腹水を伴う胃がん、大腸がんでの、化学療法と胸水、腹水濾過濃縮再静注法の併用療法. 第78回日本臨床外科学会総会 東京 2016.11.24-26.

福井淳一【交野病院】

発表(1)

1. 福井淳一、井上健太郎、尾崎 岳、向出裕美、道浦 拓、稲田 涼、大石賢玄、松本朝子、濱田 円、権 雅憲. 腹腔鏡下胃切除術における末梢神経ブロックおよびセレコキンプによる周術期鎮痛法の検討. 第71回日本消化器外科学会総会、あわぎんホール、2016.7.14-16

松浦 節【泉尾病院】

発表(2)

1. 松浦節、田中義人、橋本祐希、山道啓吾. S状結腸癌による腸重積症の2例. 日本大腸肛門病学会、三重県、2016.11.18-19日
2. 松浦節、田中義人、橋本祐希、山道啓吾. 腹腔内発育型胃粘膜下腫瘍(SMT)に対する単孔式腹腔鏡・内視鏡合同手術(TANKO-LECS)の経験. 日本内視鏡外科学会、横浜、2016.12.8~10

道浦 拓【関西医科大学付属病院 講師】

発表(7)

1. 道浦 拓. 食道がんの外科治療—チーム医療で合併症ゼロをめざせ—. 第13回日本口腔ケア学会 千葉 2016.4.
2. 道浦 拓、濱田 円、井上健太郎、小林壽範、稲田 涼、三木博和、大石賢玄、尾崎 岳、向出裕美、松本朝子、海堀昌樹、里井壮平、権 雅憲. 呼吸器障害を伴う食道がんに対する腹臥位胸腔鏡下食道切除術(両肺換気). 第116回日本外科学会、大阪 2016.4
3. Michiura T, Inoue K, Hamada M, Miki H, Inada R, Oishi M, Ozaki T, Mukaide H, Kwon AH. Prone-position thoracoscopic esophagectomy(bilateral pulmonary ventilation) for esophageal cancer with respiratory dysfunction 18th World Congress on Gastrointestinal Cancer パルセロナ 2016.6
4. 道浦 拓、井上健太郎、三木博和、尾崎 岳、向出裕美、櫻本和人、由井倫太郎、濱田 円、権 雅憲. 当院における特発性食道破裂の治療経験. 第70回日本食道学会 東京 2016.6
5. 道浦 拓、宮本 真、向出裕美、福井淳一、尾崎 岳、井上健太郎、濱田 円、友田幸一、権 雅憲. 胸腔下手術により反回神経麻痺の頻度、回復の経過は変化するのか? 第71回日本消化器外科学会 徳島 2016.7
6. 道浦 拓、狩谷秀治、井上健太郎、稲田 涼、三木博和、尾崎 岳、向出裕美、濱田 円、権 雅憲. 乳び胸に対する胸管塞栓術の有用性. 第78回日本臨床外科学会 東京 2016.11
7. 道浦 拓、井上健太郎、稲田 涼、三木博和、尾崎 岳、向出裕美、繁光 薫、濱田 円、権 雅憲. 間接熱量計による胸腔鏡下食道切除の

柳本泰明【関西医科大学付属病院 講師】

論文(2)

1. Yanagimoto H, Satoi S, Sho M, Akahori T, Yamamoto T, Hirooka S, Yamaki S, Kotsuka M, Ryota H, Kinoshita S, Nishiwada S, Nagai M, Ikeda N, Tsuta K, Nakajima Y, Kon M. Phase I study assessing the feasibility of the triple combination chemotherapy of SOXIRI (S-1/oxaliplatin/irinotecan) in patients with unresectable pancreatic ductal adenocarcinoma. *Cancer Chemother Pharmacol.* 2016 ;77:35-41.
2. Yanagimoto H, Satoi S, Yamamoto T, Hirooka S, Yamaki S, Kotsuka M, Ryota H, Michiura T, Inoue K, Matsui Y, Tsuta K, Kon M. Alleviating Effect of Active Hexose Correlated Compound (AHCC) on Chemotherapy-Related Adverse Events in Patients with Unresectable Pancreatic Ductal Adenocarcinoma. *Nutr Cancer.* 2016;68 :234-40.

発表(9)

1. 柳本泰明、里井壯平、山本智久、廣岡 智、山木 壮、小塚雅也、權 雅憲. 当院における消化器癌緊急入院調査. 第 2 回日本医療安全学会、東京、2016.3.5-6
2. 柳本泰明、里井壯平、庄 雅之、赤堀宇広、山本智久、廣岡 智、山木 壮、小塚雅也、良田大典、木下正一、西和田 敏、長井美奈子、池田直也、中島祥介、權 雅憲. 進行膵癌に対する S-1/オキサリプラチン/イリノテカン併用療法(SOXIRI)第 I 相試験. 第 116 回日本外科学会、大阪、2016.4.14-16
3. 柳本泰明、里井壯平、山本智久、廣岡 智、山木 壮、小塚雅也、權 雅憲. 当院における消化器癌緊急入院調査 第 102 回消化器病学会、東京、2016.4.21-23
4. 柳本泰明、里井壯平、山本智久、廣岡 智、山木 壮、良田大典、井上健太郎、道浦 拓、小塚雅也、松井陽一、權 雅憲. Conversion surgery for patients with unresectable pancreato-biliary cancer 切除不能膵癌における conversion surgery への予測と予後予測因子としての high-sensitivity mGPS の有用性. 第 28 回日本肝胆膵外科学会、大阪、2016.6.2-4
5. 柳本泰明、蓮尾英明、佐久間博子、松森恵理、中島せい子、里井壯平、山本智久、廣岡 智、權 雅憲. 大学病院における予期せぬ急変に対する取り組み、第 21 回日本緩和医療学会、京都、2016.6.17-18
6. 柳本泰明、里井壯平、庄 雅之、山本智久、赤堀宇広、池田直也、山木 壮、長井美奈子、中島祥介、權 雅憲. パンクレリパーゼ製剤は膵頭十二指腸切除術後の NAFLD の発症を抑制するか? 多施設共同ランダム化比較試験第 71 回日本消化器外科学会、徳島、2016.7.14-16
7. H. Yanagimoto, S. Satoi, M. Sho, T. Yamamoto, T. Akahori, S. Kinoshita, M. Nagai, S. Hirooka, S. Yamaki, S. Nishiwada, H. Ryota, N. Ikeda, Y. Nakajima and M. Kon. Does pancrelipase delayed-release capsules have a protective role on nonalcoholic fatty liver disease after pancreatoduodenectomy in patients with pancreatic cancer? ; A randomized control trial. 第 47 回日本膵臓学会、仙台、2016.8.4-7
8. Hiroaki Yanagimoto, Sohei Satoi, Tomohisa Yamamoto, Hisashi Kosaka, Satoshi Hirooka, So Yamaki, Masaya Kotsuka, Hironori Ryota, Kentaro Inoue, Yoichi Matsui, Masanori Kon. The value of the high-sensitivity modified Glasgow Prognostic Score in predicting the survival of patients with unresectable pancreatic ductal adenocarcinoma after long-term chemo (radio)therapy. 40th World Congress of the International College of Surgeons、京都、2016.10.23-26
9. 柳本泰明、里井壯平、山本智久、廣岡 智、山木 壮、小塚 久、小塚雅也、良田大典、道浦 拓、井上健太郎、權 雅憲. Conversion surgery の役割と適応予測因子としての The high-sensitivity modified Glasgow Prognostic Score の検討、第 78 回日本臨床外科学会、東京、2016.11.24-26

講演(4)

1. 柳本泰明 中部地区がん性疼痛講演会、「患者さんにより添った究極のがん治療」、沖縄、2016.4.27
2. 柳本泰明 第 19 回 消化器外科手術を考える若手懇談会、「膵癌の手術と化学療法」、大阪、2016.2.6
3. 柳本泰明 第 6 回札幌緩和ケア講演会、「患者さんにより添った究極のがん治療」、北海道、2016.6.20
4. 柳本泰明 第 4 回名古屋大学 消化器癌セミナー、「膵癌の化学療法」、名古屋、2016. 7.22

その他(1)

1. Yanagimoto H. Pancreatic Cancer: Chemotherapy and AHCC (Significance as Supportive Care). *Clinician's Guide to AHCC.* 2016; Chapter 5. Cancer:88-97.

向出裕美【関西医科大学付属病院 助教】

発表(4)

1. Hiromi Mukaide , Kentaro Inoue , Michiura Taku , Takashi Ozaki , Hirokazu Miki , Toshinori Kobayashi , Masaharu Oishi , Ryo Inada , Kaori Shigemitsu , Kon Masanori, Madoka Hamada. Staple-Line Reinforcement of the Duodenal Stump With Intracorporeal Lembert's Sutures in Laparoscopic Distal Gastrectomy With Roux-en-Y Reconstruction for Gastric Cancer. 国際外科学会、京都、2016.10.23
2. 向出裕美、井上健太郎、道浦 拓、尾崎 岳、三木博和、小林壽範、稲田 涼、大石賢玄、繁光 薫、權 雅憲、濱田 円. 胃癌術後 胆石・総胆管結石症例の検討. 胃外科術後障害研究会、2016.10.28
3. 向出裕美、井上健太郎、道浦 拓、尾崎 岳、三木博和、小林壽範、稲田 涼、大石賢玄、繁光 薫、權 雅憲、濱田 円. 胃癌術後 胆石、総胆管結石症例の検討. 臨床外科学会、2016.11.24
4. 向出裕美、井上健太郎、道浦 拓、尾崎 岳、三木博和、小林壽範、稲田 涼、大石賢玄、繁光 薫、權 雅憲、濱田 円. 腹腔鏡下胃癌手術における 4sb リンパ節郭清時の視野展開. 内視鏡外科学会、2016.12.8

吉田秀行【関西医科大学香里病院 診療講師】

発表(5)

1. 吉田 秀行、兼松 清果、服部 美栄、權 雅憲. 急性期病院における独居がん患者の退院支援の重要性～がん性疼痛を伴う乳がん終末期患者の事例からの考察～. 第 27 回日本在宅医療学会 横浜 2016.6.4-5
2. 吉田 秀行、兼松 清果、岡崎 智、神原 達也、金 成泰、吉田 良、田中 完児、權 雅憲. 当院における高齢者乳癌の個別化医療の検討. 第 24 回日本乳癌学会 東京 2016.6.16-18
3. 吉田 秀行 兼松清果 岡崎 智 權 雅憲. HER2 陽性転移再発乳癌でエリブリン+ペルツズマブ+トラスツズマブを 1st line で施行し CR が得られた 1 例. 第 17 回乳癌最新情報カンファレンス 倉敷 2016.8.26-27
4. 吉田 秀行、兼松清果、岡崎 智、田中完児、權 雅憲. 乳癌術後化学療法 TC レジメンに対しての当院での検討. 第 54 回日本癌治療学会 横浜 2016.10.20-22
5. 吉田 秀行、兼松 清果、岡崎 智、神原 達也、金 成泰、吉田 良、田中 完児、權 雅憲. 乳癌術後膵転移をきたした症例に S-1 が著効した 1 例. 第 14 回日本乳癌学会近畿地方会 大阪 2016.12.3

小塚雅也【関西医科大学付属病院 病院助教】

発表(8)

1. 小塚雅也、山木 壮、里井壮平、柳本泰明、山本智久、廣岡 智、良田大典、松井陽一、權 雅憲. 画像上局所進行膵癌における腹腔鏡検査の有用性と腹膜転移の予測因子. 第 116 回日本外科学会定期学術集会 大阪国際会議場 2016.4.14-16
2. 小塚雅也、里井壮平、柳本泰明、山本智久、廣岡 智、山木 壮、小坂 久、松井陽一、權 雅憲. 多発腹膜転移を有する膵尾部癌に対し化学療法を行い、根治切除、長期無再発生存が得られた一例. 第 611 回 大阪外科集談会 大阪大学 中之島センター 2016.5.21
3. 小塚雅也、里井壮平、柳本泰明、山本智久、廣岡 智、山木壮、松井陽一、權 雅憲. 成人発症 Nesidoblastosis の 1 例. 第 28 回日本肝胆膵外科学会、学術集会 大阪国際会議場 2016.6.2-4
4. 小塚雅也、里井壮平、柳本泰明、山本智久、廣岡 智、山木 壮、良田大典、道浦 拓、井上健太郎、松井 陽一、權 雅憲. 十二指腸乳頭部癌における予後予測因子の検討 第 71 回日本消化器外科学会総会 あわぎんホール/徳島 2016.7.14-16
5. 小塚雅也、里井壮平、柳本泰明、山本智久、小坂 久、廣岡智、山木 壮、良田大典、松井陽一、權 雅憲. 予測不可能であった膵頭十二指腸切除後弓状靱帯症候群の 1 例. 第 65 回 近畿膵疾患談話会 梅田スカイビル/大阪 2016.10.15
6. Masaya Kotsuka Sohei Sato Hiroaki Yanagimoto Tomohisa Yamamoto Hisashi Kosaka Satoshi Hirooka So Yamaki Kentaro Inoue Youichi Matsui Masanori Kon. Adult onset nesidioblastosis treated by distal pancreatectomy. 40th World Congress of the International College of Surgeons 京都国際会議場 2016.10.23-26
7. 小塚雅也、松井陽一、里井壮平、柳本泰明、廣岡智、山本智久、山木壮、權雅憲. 右胃大網動脈を用いた冠動脈バイパスグラフト術既往のある胆嚢摘出術9例の検討. 第 78 回日本臨床外科学会総会 グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 2016.11.24-26
8. 小塚雅也、松井陽一、里井壮平、柳本泰明、廣岡智、山本智久、山木壮、權 雅憲. 遊離大網充填法による胆嚢全摘術後の胆汁瘻予防法. 第 29 回日本内視鏡外科学会総会 パシフィコ横浜 2016.12.8-10

小田道夫【若草第一病院】

発表(1)

1. 小田道夫、中本博之、北川克彦、山中英治. 腹腔鏡補助下胃切除後 Billroth2 法再建後 10 数年後に発症した内ヘルニアの一例. 第 78 回臨床外科学会 東京 2016.11.24-26

繁光 薫【関西医科大学付属病院 准教授】

発表(3)

1. 繁光 薫、住山房央、小林壽範、三木博和、稲田 涼、大石賢玄、尾崎 岳、向出裕美、道浦 拓、井上健太郎、權 雅憲、濱田 円. 脾彎曲部結腸癌切除術における安全な手術手技の工夫. 第 78 回日本臨床外科学会総会、東京、2016.11.26
2. 繁光 薫、住山房央、小林壽範、三木博和、稲田 涼、大石賢玄、尾崎 岳、向出裕美、道浦 拓、井上健太郎、濱田円. Sugarbaker 法で修復した傍ストーマヘルニア 10 例の検討. 第 29 回日本内視鏡外科学会総会、横浜、2016.12.10
3. Shigemitsu Kaori, Fusao Sumiyama, Toshinori Kobayashi, Ryo Inada, Masaharu Oishi, Madoka Hamada. Usefulness of the inferior approach in laparoscopic right hemicolectomy. European Colorectal Congress, St. Gallen, 2016.11.30

大石賢玄【関西医科大学付属病院 助教】

発表(2)

1. 大石賢玄、小林壽範、稲田 涼、松本朝子、濱田 円、腹腔鏡下括約筋間直腸切除術(LAPISR)27 症例の検討、第 84 回大腸癌研究会、熊本、2016 年 1 月 15 日
2. 大石賢玄、小林壽範、稲田涼、松本朝子、濱田円、当院における腹腔鏡下括約筋間直腸切除術の現状、第 71 回消化器外科学会総会、徳島、2016 年 7 月 15 日

北出浩章【関西医科大学総合医療センター 准教授】

発表(1)

1. 北出浩章、中井宏治、相地知子、西辻智恵美、福永千佳子. 当院における栄養教育の現状と今後の対策. 日本静脈経腸栄養学会、福岡 2016.2.25-26

